

消 防 概 要

令 和 5 年 版



『いせ咲く。』 ～共に歩む 未来創生都市～

伊 勢 崎 市 消 防 本 部

は じ め に

この概要は、令和4年及び令和5年4月1日現在における伊勢崎市消防本部管内の現勢と消防諸般の事項を収録し、当消防本部の実態を広く紹介するとともに、今後の消防行政の合理的な運営に資するために編集したものです。

本書をご高覧いただき、消防行政に対するご理解をいただくとともに、防災思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

令和5年7月

伊勢崎市消防本部

令和4年1月～12月 管内で発生した災害件数

火 災	79件
救 急	12,472件
救 助	93件

目 次

◇ 一般概要

位置と地勢	1
管内の面積・人口・世帯数	1
消防の沿革	2
消防署配置図	12
消防の組織	13
庁舎の位置・概要	14
歴代の消防長	15

◇ 総 務

職員の配置状況	16
職員の階級別年齢状況	17
職員の階級別勤続状況	18
教育訓練・研修等実施状況	19
職員特殊技能資格取得表	21
令和4年度職場衛生管理状況	21
令和5年度一般会計当初予算	22
令和5年度消防費予算額	23
予算と人口、世帯数との比較（過去5年間）	23
伊勢崎市消防費決算額（過去5年間）	23

◇ 予 防

〈査察対象物〉	24
管内人口の推移と査察対象物の状況	24
査察対象物の現況	25
中高層建築物棟数（4階以上）	26
査察対象物の立入検査状況	27
各種届出等の状況	28
〈建築・設備〉	29
建築同意事務処理の推移	29
計画通知事務処理の推移	29
建築通知事務処理の推移	29
月別建築同意件数	30
査察対象物の検査状況	31
消防用設備等の検査状況	32
防火対象物定期点検及び防災管理	32
〈危険物施設〉	33
危険物製造所等の設置状況	34
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数	35
危険物製造所等施設数及び事業所数の推移	36

◇ 警 防

〈消防救助〉

消防隊出動状況	37
高速自動車国道等出動状況（救急・火災・救助・支援出動）	38
火薬類（煙火）消費許可	39
水防関係・水防訓練	40
水防倉庫資器材備蓄一覧表	41
応援協定	42
救助活動概要	45
救助活動の推移（過去10年間）	45
事故種別救助活動状況	46
事故種別発生場所別出動件数	46
〈指揮調査〉	
火災の概況	
指揮活動・指揮隊出動内訳	47
火災の状況（令和3年・令和4年比較）	48
市町別出火状況	49
火災状況の推移・火災件数の推移	50
火災件数（建物・車両・その他の火災の推移）	51
出火原因	53
火災による死傷者	55
署・分署別火災発生状況	56
〈装備・施設〉	
消防車両等現有配置状況	57
消防車両一覧表	58
装備品一覧表	61
消防水利施設現況・年度別新設消火栓現況・消防水利整備事業	63

◇ 救 急

救急概要	64
救急出動件数の推移	64
市町別救急出動件数の推移（過去10年間）	65
救急活動概要	66
救急隊別出動状況	66
発生市町別救急出動件数	67
発生市町別救急搬送人員	67
現場到着までの所要時間	68
病院収容までの所要時間	68
月別救急出動件数	68
曜日別救急出動件数	68
時間別救急出動件数	69
救急隊員の行った応急処置件数	69
事故種別年齢区分別搬送人員	70
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員	70
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	71
応急手当普及啓発活動の推移（過去10年間）	71

◇ 通信指令

通信指令系統図	72
高機能消防指令センターシステム系統図	73
無線通信設備一覧	74
119番通報受信状況	75
災害情報案内テレホンサービス利用状況	75
火災情報メール配信サービス利用状況	75
救急病院等案内テレホンサービス利用状況	76
救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況	76
気象情報発表状況	77

◇ 消防音楽隊

消防音楽隊編成表・歴代の音楽隊長	78
派遣状況の推移	79
令和4年度派遣状況	79

◇ 消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図	80
伊勢崎市消防団の沿革	81
伊勢崎市消防団組織表	84
伊勢崎市消防団車両一覧表	86
伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数	87
伊勢崎市消防団無線配備一覧表	88
伊勢崎市消防団資機材配備一覧表	88
伊勢崎市消防団員年齢別状況	89
伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況	89
伊勢崎市消防団員の職業構成別状況	89
伊勢崎市消防団員の就業形態別状況	89
伊勢崎市消防団出動状況	89
伊勢崎市消防団充足率	89

◇ 消防関係団体

消防関係団体の現況	90
女性防火クラブの現況	91
少年消防クラブの現況	91

一 般 概 要

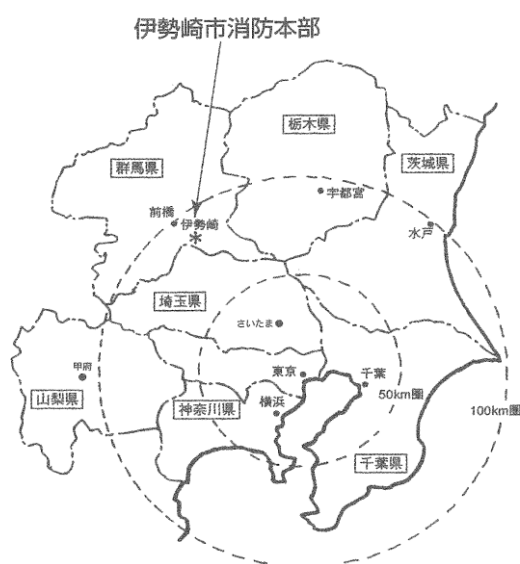
位 置 と 地 勢

当消防本部は群馬県平野部のほぼ中央に位置し、首都東京から西北方約100km圏内にあり諸機能の集積した前橋地区、太田地区および高崎地区とともに有機的な関連をもちつつ、これらの都市群の一角を形成し首都圏整備法に基づく広域都市開発区域として北関東における大規模都市建設の開発拠点となっている。

地勢は、北部に標高150m～170mの丘陵が散在しているが、北部から、南東に向かって、約150分の1のきわめてゆるやかな勾配で平坦部が展開しており、丘陵地帯は、管内の僅か1.0%に満たない状況である。

また、地質は、西部から南部を流れる利根川、中部の広瀬川、粕川、東部を流れる早川などを中心に、沖積層が広がっており、洪積層にはさまった形で分布している。

なお、北方正面には赤城山がそびえ、西方には、榛名山をはじめ、上信越連峰が望見される環境であるため、冬は「上州名物からっ風」などと俗称される赤城おろしが強く、また夏には雷も激しい。



管内の面積・人口・世帯数

	面積(km ²)	令和4年4月1日現在		令和5年4月1日現在		人口伸び率(%) (前年度比)
		人口(人)	世帯数	人口(人)	世帯数	
伊勢崎市	139.44	212,178	93,119	211,963	94,437	-0.0010
玉 村 町	25.78	35,956	15,837	35,820	16,072	-0.0038
合 計	165.22	248,134	108,956	247,783	110,509	-0.0014

消 防 の 沿 革

沿革 ●協定 ■訓練		施設・車両・通信等整備
昭和18年	3月	・伊勢崎市警防団常備消防部を開設する。（部員14人・自動車ポンプ2台）
昭和22年	12月	・伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称する。
昭和28年	9月	・伊勢崎市消防団常備消防部が救急業務を開始する。
昭和29年	11月	・伊勢崎市消防団常備消防部を廃し、伊勢崎市消防本部・消防署を開設する。 (職員31人・速消車2台・救急自動車1台・普通車1台)
昭和30年	9月	・消防用無線電話(短波)装備設置(基地局1台・移動局1台・受信機33機) 《市長1・消防幹部5・消防団詰所25・水源地1・東電1》
昭和32年	8月	・境町消防団常備消防部を開設する。（部員2人・速消車1台）
昭和40年	3月	・超短波無線電話装置配備（基地局1台・救急自動車）
昭和41年	4月	・玉村町は町役場職員により救急業務を開始する。
	12月	・超短波無線電話装置配備（1号車・3号車）
昭和42年	3月	・超短波無線電話装置配備（2号車・化学車・指令車）
	4月	・境町消防団常備消防部を廃し、境町消防本部・消防署を開設する。 (職員28人・速消車1台・普通車1台)
	12月	・境町消防本部が救急業務を開始する。
昭和44年	1月	・伊勢崎市が赤堀村・東村の救急業務を受託する。
昭和45年	2月	【施設】伊勢崎市消防庁舎（後に広域消防本部庁舎）起工
昭和46年	3月	・伊勢崎佐波消防組合発足に伴い、伊勢崎市消防本部・境町消防本部を解散する。
	4月	・伊勢崎佐波消防組合を発足する。
	11月	【車両（新規）】連絡車（伊勢崎消防署）
	12月	【車両（新規）】スノーケル車（伊勢崎消防署）
昭和47年	3月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎・国定・境・玉村消防署が新築完成する。
	4月	・国定消防署・玉村消防署・伊勢崎消防署北分署が業務を開始する。 ・消防職員46人増員する。（職員数138人） (消防本部19人・伊勢崎消防署41人・北分署13人・国定消防署19人・ 境消防署29人・玉村消防署17人)
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通消防ポンプ自動車・連絡車 (伊勢崎消防署北分署)
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車・連絡車（国定消防署・玉村消防署）
	5月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署）
	8月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）
	9月	・伊勢崎佐波消防組合を解散する。
	10月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合へ消防事務を編入する。
昭和48年	2月	【車両（新規）】広報車（消防本部） 《伊勢崎ライオンズクラブ・伊勢崎中央ライオンズクラブより寄贈》
	3月	・救急一斉指令装置配備（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員9人増員する。（職員数141人）
	7月	【車両（新規）】救急自動車（玉村消防署）《群馬県農業共済協同組合連合会より寄贈》
	8月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本消防協会より寄贈》
	9月	【車両（新規）】救急自動車（境消防署） ・自動気象記録観測装置設置（伊勢崎消防署）

	10月	・伊勢崎消防署北分署が救急業務を開始する。
	11月	【車両（新規）】大型消火器積載車（境消防署）《境ライオンズクラブより寄贈》
昭和49年	4月	・消防職員4人増員する。（職員数145人）
	10月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《伊勢崎佐波危険物安全協会より寄贈》
昭和50年	4月	・消防本部総務課に消防団係を新設する。
	7月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》
	11月	【車両（新規）】連絡車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	12月	● 大火災・その他特殊火災が発生した場合の被害を最小にする目的で、群馬県全域の11消防本部と相互応援協定を締結する。
昭和51年	2月	・防災通信の合理化（県波導入）のため、消防車用超短波無線基地局設置（消防本部）
	4月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防団審議会を発足する。 ・消防職員5人増員する。（職員数150人）
	11月	【車両（新規）】消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
	12月	● 特殊災害による被害を最小にする目的で、群馬・栃木隣接の5消防本部と相互応援協定を締結する。 （桐生市・太田地区・館林地区・佐野地区・足利市）
昭和52年	2月	【装備】河川等における野火対策強化のため、可搬動力ポンプを配備する （伊勢崎消防署・境消防署）
	6月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署）
昭和53年	4月	・消防職員3人増員する。（職員数153人）
		【車両（新規）】連絡車（消防本部）
	9月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	11月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （三郷・宮郷・豊受地区）《2ヵ年継続事業》
	12月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
昭和54年	1月	【車両（新規）】広報車（境消防署）
	2月	【車両（新規）】乗用車（境消防署）《境危険物安全協会より寄贈》
	4月	・消防職員2人増員する。（職員数155人）
	11月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （殖蓮・伊勢崎北・南・茂呂・名和地区）《継続2年次》
昭和55年	4月	・消防職員2人増員する。（職員数157人） ・救急医療情報システムを財団法人群馬県救急医療情報センターとの協定により運用開始する。
	6月	・住民サービスと通信業務を円滑にするため、テレホンサービスを開始する。 【車両（新規）】広報連絡車（国定消防署・玉村消防署）
昭和56年	3月	【車両（新規）】30m級はしご付消防ポンプ自動車・化学消防ポンプ自動車Ⅲ型・救助工作車 （伊勢崎消防署） 【車両配置替え】スノーケル車（伊勢崎消防署→境消防署）
昭和57年	2月	【車両（新規）】広報車（消防本部）
	3月	【施設】伊勢崎消防署南分署庁舎及び救助訓練施設が新築完成する。
	4月	・消防職員11人増員する。（職員数168人） ・伊勢崎消防署南分署が業務を開始する。 【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通ポンプ自動車・救急自動車・広報車
	8月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本消防協会を通じ日本船舶振興会より寄贈》
	12月	【車両（新規）】広報連絡車（消防本部・伊勢崎消防署）

昭和58年	1 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署北分署・国定・境・玉村消防署） 【車両（新規）】救急自動車（国定消防署）
	3 月	【車両（新規）】普通消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【施設】境消防署庁舎・車庫を増改築する。
	9 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《富士重工業㈱より寄贈》
	5 月	■ 第6回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市役所）
昭和59年	1 1 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本自動車工業会より寄贈》
昭和60年	3 月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署北分署） 【車両（新規）】広報車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》 【車両（新規）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	4 月	・非常備消防に関する事務が組合の共同処理する事務から除かれ、消防団が市町村へ帰属する。 ・境町消防団の出場指令の合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
	7 月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》
	1 0 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【装備（新規）】水難救助用アルミボート（伊勢崎消防署南分署）
	4 月	・消防職員1人増員する。（職員数169人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（昭和63年3月31日まで） ● 関越自動車道の本庄から関越トンネル内県境間における災害を最小にする目的で、6消防本部と相互応援協定を締結する。
	1 1 月	・消防本部警防課に通信指令係を新設する。
昭和62年	1 月	【通信】広域消防の火災出場態勢を強化するため、出場区分を大幅に改正し、各無線局の呼出しを変更する。 ・広域管内における救急隊の多重出場に対処するため、出場区分を定める。 【施設】国定消防署通信室を増改築する。
	1 0 月	【施設】消防本部庁舎3階に通信指令室及び事務室を増築する。
	1 1 月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車BD-I型（国定消防署・境消防署） 【車両（新規）】15m級はしご付消防ポンプ自動車（バスケット付）（境消防署）
	2 月	【通信】昭和62・63年度2ヵ年継続事業（国庫補助）として計画した消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち指令装置・無線統制台・自動出場指令装置及び電話交換機の設置が完了し、運用開始する。
	4 月	【通信】群馬県防災行政無線を群馬県との協定により運用開始する。
昭和63年	6 月	【車両（新規）】広報車（消防本部・伊勢崎消防署・玉村消防署）
	9 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【施設】玉村消防署庁舎を新築移転する。
	1 1 月	【車両（新規）】マイクロバス（消防本部）
	1 2 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署） 【車両（新規）】連絡車（境消防署）《境町危険物安全協会より寄贈》
	2 月	【施設】国定消防署車庫を増改築する。
	3 月	【通信】消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち気象観測装置及び地図等検索装置の設置が完了し、運用開始する。
平成元年	5 月	■ 第11回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市文化会館）
	1 1 月	【車両（更新）】広報車（境消防署） 【車両（新規）】資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署）
	1 2 月	【施設】消防本部庁舎内部の改修工事を行い、伊勢崎消防署事務室を庁舎1階に移転する。

平成2年	3月	【施設】境消防署に訓練塔1基を建設する。 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（3,400ℓ）（玉村消防署）
	4月	・消防職員6人増員する。（職員数175人） ・警防課装備施設係を廃し、その事務を総務課経理係に包含する。
	8月	【車両（新規）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署） ■群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》
	12月	【通信】救急出動の増加に伴い救急波無線を導入する。
平成3年	2月	【車両（更新）】広報車（消防本部）
	3月	【施設】東消防署庁舎が新築完成する。 ・デジタル式遠隔装置を導入する。
	4月	・消防職員4人増員する。（職員数179人） ・東消防署が業務を開始する。 【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）・救急自動車・広報車 ・国定消防署を赤堀消防署に改称する。
	11月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）（境消防署・玉村消防署）
平成4年	3月	【車両（新規）】照明車（6,000W）（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	4月	・消防職員7人増員する。（職員数186人）
	5月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《恵工業株式会社より寄贈》
	7月	【車両（更新）】広報車（伊勢崎消防署）
	9月	【車両（更新）】救急自動車（赤堀消防署）
	12月	・伊勢崎市高齢者向緊急通報システムを運用開始する。
平成5年	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署庁舎が新築完成する。
	4月	・消防職員12人増員する。（職員数198人） ・伊勢崎消防署西分署が業務を開始する。【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）・救急自動車
	7月	・東村オフトーク通信を東村との協定により運用開始する。
	12月	・玉村町オフトーク通信を玉村町との協定により運用開始する。
平成6年	1月	【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	2月	・応急手当講習会（普通救命講習会）の第1回目が行われる。
	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ） （伊勢崎消防署・伊勢崎消防署南分署・赤堀消防署） 【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署） ・パソコンを導入し、業務の合理化を図る。
	4月	・消防職員5人増員する。（職員数203人） ・警防課通信指令係を廃し、通信指令課を新設する。（課長以下13人 指令1係・指令2係） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成8年3月31日まで）
	5月	・組合第1号救急救命士が誕生する。
	6月	・赤堀町防災無線を赤堀町との協定により運用開始する。
平成7年	2月	【車両（更新）】広報連絡車（高床式）（消防本部）、救助工作車Ⅱ型（伊勢崎消防署）、 指令車（赤堀消防署） 【車両（更新）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	4月	・中隊制を係制に改める。 ・伊勢崎消防署に課制を敷き、救助1係・救助2係（各6人）を新設する。
	5月	■利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》

	6月	● 群馬県緊急消防援助隊が発足する。
	9月	【施設】消防本部庁舎の落雷対策工事を行う。
		■ 第17回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（群馬県教育センター）
	10月	・定数条例を改定し、203人が233人となる。
		【車両（新規）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署）
平成8年	2月	【車両（更新）】化学車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	3月	【施設】赤堀消防署食堂等を増改築する。
		【施設】伊勢崎消防署西分署・玉村消防署に訓練塔1基建設する。
	4月	・消防職員10人増員する。（職員数213人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成9年3月31日まで）
	10月	【通信】災害情報案内の同時情報提供（1,024人）サービスを開始する。
	12月	・境町防災無線を境町との協定により運用開始する。
平成9年	1月	・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成11年3月31日まで）
		● 火災・地震等大規模災害が発生した場合の人的・物的被害を最小にする目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合及び深谷市・岡部町共同事務組合と応援協定を締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎を新築移転する。（付帯設備 訓練塔）
		【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
		【装備（新規）】高規格救急自動車導入に伴い、心電図受信装置を3病院（救急告示病院）に設置する。
		【車両（更新）】指令車2台（消防本部）、指令車（伊勢崎消防署・玉村消防署）
		【車両（新規）】資機材運搬車（消防本部）、普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）（東消防署）
	4月	・消防職員11人増員する。（職員数224人）
		・本部次長制を廃止する。
		・消防本部予防課に予防係（3人）及び各消防署（各分署を除く）に救急1係、救急2係（各3人）を新設する。
	5月	● 地震・台風・水害・火災及び事故等の災害時に、群馬県防災航空隊の応援を受けることによって被害を最小にする目的で群馬県と応援協定を締結する。
	11月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）（赤堀消防署・境消防署）
		【車両（新規）】指令車（消防本部）《柏井建設㈱より寄贈》
平成10年	1月	● 火災・地震等の災害時に、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小にする目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結する。
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数227人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成12年3月31日まで）
	8月	【施設】赤堀消防署訓練場に照明灯を設置する。
	10月	【通信】携帯電話等からの119番通報システムを運用開始する。
平成11年	3月	【車両（更新）】40m級はしご付消防自動車（伊勢崎消防署）
		【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数230人）
		・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成14年3月31日まで）
	6月	【施設】玉村消防署訓練場に照明灯を設置する。
	11月	【施設】東消防署訓練場に照明灯を設置する。
平成12年	1月	・ダイヤルイン方式の運用を開始する。
	2月	【通信】平成11年度事業（国庫補助）として計画した消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）指令装置、表示盤、無線統制台、自動出動指定装置、指令伝達装置及び気象情報収集装置等の更新が完了し運用開始する。

		・群馬県知事特別功労表彰を受賞する。 (群馬県消防大会において参加したアクション、寸劇「残月赤城山」が県知事に評価されたもの)
	3月	【車両(新規)】高規格救急自動車(Ⅱ課程対応)(東消防署)
	4月	・消防職員2人増員する。(職員数232人) ・火災調査課を新設する。(火災調査係 課長以下4人)【車両(新規)】火災調査車 ・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。(平成14年3月31日まで) ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成14年3月31日まで)
	11月	【車両(更新)】広報連絡車(消防本部)
平成13年	3月	【車両(新規)】高規格救急自動車(Ⅱ課程対応)(赤堀消防署) ・イベント広報用のミニ消防車・超ミニ消防車を製作し運用を開始する。
	3月	・北関東自動車道開通に伴い、高速救急隊(北分署・10人を併任)を発足し運用開始する。
	4月	・消防職員1人増員する。(職員数233人) ・定数条例を改正し、233人が242人となる。
	8月	【車両(新規)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	10月	【車両(新規)】指令車(境消防署)
平成14年	3月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(伊勢崎消防署北分署) 【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署南分署) 【車両(更新)】高規格救急自動車(Ⅱ課程対応)(伊勢崎消防署西分署) 【車両(更新)】小型動力ポンプ付水槽車(4,500ℓ)(玉村消防署)
	4月	・消防職員2人増員する。(職員数235人) ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成17年3月31日まで) ・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。(平成16年12月31日まで)
	10月	・消防本部・各署(分署)へインターネット接続用パソコンを導入し、運用開始する。
	11月	【装備(新規)】水難救助用水上バイク(境消防署)《境町ライオンズクラブより寄贈》
平成15年	2月	【車両(更新)】指令車(東消防署)、高規格救急自動車(玉村消防署)
	3月	【車両(更新)】火災調査車(火災調査課)、資機材運搬車(伊勢崎消防署南分署) 【施設】赤堀消防署庁舎を新築移転する。
	4月	・消防職員5人増員する。(職員数240人)
	9月	【装備(更新)】水難救助用パワーボート(伊勢崎消防署)
平成16年	2月	【車両(更新)】高規格救急自動車(境消防署) ・消防本部・伊勢崎消防署の一部に庁内ネットワークシステム(サーバ1台・パソコン30台)を導入する。
	3月	【車両(更新)】小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)(伊勢崎消防署) 【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(東消防署)、乗用車(消防本部) 【施設】火災調査課の消防本部庁舎移転に伴い改築する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者12人。(職員数240人) ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成18年3月31日まで)
	6月	【通信】IP電話を用いた緊急通報を運用開始する。
	12月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合が解散する。
平成17年	1月	・市町村合併により伊勢崎市消防本部に名称変更する。 ・佐波郡玉村町より消防事務(消防団・水利事務を除く)を受託する。 【車両(更新)】マイクロバス(消防本部)
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者4人。(職員数242人)
	5月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《国土交通省・関東1都6県共催》

	12月	【通信】携帯電話直接受信システムを運用開始する。
平成18年	3月	【車両（更新）】指令車（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（境消防署）
	4月	・消防職員7人採用、市長部局より1人出向、前年度退職者11人。（職員数239人） ・消防本部警防課に救急救助係を新設し、消防係を消防安全係に名称変更する。 ・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成20年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成21年3月31日まで）
	8月	【装備（新規）】潜水用具（伊勢崎消防署）、水難救助用ゴムボート（伊勢崎消防署南分署） 【車両（新規）】牽引用トレーラー（伊勢崎消防署南分署）
	9月	【施設】伊勢崎消防署北分署に浴室等を設置する。
平成19年	1月	【施設（更新）】高圧ガス製造所内空気充填設備（30MPa対応コンプレッサー）（消防本部）
	3月	【施設（更新）】緊急出動灯（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）、 水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（玉村消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2,000ℓ） （伊勢崎消防署西分署・境消防署）
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者5人。（職員数240人）
	9月	【施設】赤堀消防署庁舎の浴室を増設する。
平成20年	2月	【車両（更新）】指令車（消防本部）、15m級はしご付消防ポンプ自動車（境消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（赤堀消防署）
	4月	・消防職員11人採用、前年度退職者10人。（職員数242人） ・火災調査課を廃し、消防本部に指揮調査課を新設する。（指揮調査第1係、第2係） （課長〔総務担当が兼任〕以下9人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成22年3月31日まで）
	9月	【施設】伊勢崎消防署寝室棟が完成する。（リースによる規格建築物）
平成21年	1月	【車両】40m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	2月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数242人） ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合に消防救急無線共同整備に係る事務を委託する。
	10月	【通信】消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）のうち指令装置、表示盤、指令伝送装置の改修及び統合型位置情報通知装置（携帯・IP電話）の設置が完了し、運用を開始する。
	12月	【車両（更新）】高規格救急自動車（東消防署）
平成22年	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】伊勢崎消防署仮設訓練塔の建替を行う。
	4月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。（職員数242人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成25年3月31日まで） ・高崎市等広域消防局へ職員を派遣する。（平成23年3月31日まで） 【車両配置替え】普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）《境消防署→伊勢崎市消防団本部》 【車両配置替え】防火号《伊勢崎市消防団本部→伊勢崎消防署》 【車両配置替え】水防車《伊勢崎市消防団境方面隊本部→境消防署》
	7月	【通信】統合型位置情報システム（NTT固定電話）の運用を開始する。
平成23年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】玉村消防署庁舎を増築する。

	3月	【施設】消防本部庁舎の耐震診断を業務委託する。
	4月	・消防職員8人採用、前年度退職者8人。（職員数242人） ・条例定数を改正し242人が260人となる。
	6月	【施設】伊勢崎消防署緊急車両車庫の壁面塗装工事を行う。（東日本大震災による災害復旧工事）
	8月	【車両（更新）】指令車（消防本部・赤堀消防署）
	10月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
平成24年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署） 【車両（更新）】救助工作車Ⅲ型（伊勢崎消防署） ・消防水利（防火水槽）の一元管理を図るため、消防水利管理システムを構築する。
	3月	【装備】緊急消防援助隊設備及び多数傷病者発生災害対応の強化を図るため、チューブ膨張式エアテント付属品（前室・エアコン等）を購入し、配備する。 ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防救急無線共同整備に係る事務委託を廃止する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者10人。（職員数244人） ・毎月実施していたサイレンの定時吹鳴試験を、毎月1日の正午実施に変更する。
	8月	【通信】全国瞬時警報システム（J-ALERT）を整備し、運用開始する。 【通信】市民向け災害情報メールの配信を開始する。
	11月	・イベント用ミニはしご車の運用を開始する。 ・消防本部庁舎敷地を拡幅する。（借用していた駐車場ほか5筆 1867.74㎡を取得）
平成25年	2月	【車両（更新）】指令車・指揮車（消防本部）・高規格救急自動車（境消防署） 【車両（更新）】玉村消防署に指令車が更新配備される。 ● 大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定を藤本商事株式会社と締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署に女性職員用スペース設置工事を行う。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者5人。（職員数255人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成27年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成28年3月31日まで）
	9月	■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》 【施設】消防本部車庫棟が完成する。（リース契約） 【施設】消防本部庁舎建設工事を着工する。（平成27年2月27日まで）
	10月	【施設】伊勢崎消防署南分署の車庫シャッター設置工事を行う。
平成26年	1月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【車両（更新）】資機材運搬車（パワーゲート付）（境消防署） 【車両配置替え】資機材運搬車《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 【通信】平成25・26年度2ヵ年事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事のうち移動局の車載型無線装置及び卓上型無線装置の設置工事、携帯型無線装置及び可搬型無線装置の配置が完了する。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数255人） ・前年度退職者6人を再任用する。（再任用職員数6人） ・伊勢崎消防署の各分署に救急1係・救急2係（各3人）を新設する。
平成27年	3月	【施設】平成25・26年度2ヵ年事業の消防本部庁舎が完成する。 【通信】平成26年度事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事により基地局無線設備及び指令センターの整備が完了し、高機能消防指令センターの運用を開始する。
	4月	・消防職員9人採用、前年度退職者7人。（職員数256人） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数3人） ・指揮調査課に調査係を新設する。

	5月	■ 利根川水系連合・総合水防演習が実施される。（境島村地先 利根川左岸 177km付近） 《主催・国土交通省、関東1都6県、伊勢崎市》
	6月	【施設】玉村消防署用地を拡張する。（1546㎡を取得）
	9月	【施設】消防本部旧庁舎解体外工事を行う。
平成28年	1月	【施設】東消防署車庫棟塗装工事を行う。
		【車両（更新）】高規格救急自動車（赤堀消防署）
	3月	【車両（新規）】資機材運搬車（支援車Ⅱ型）（消防本部）
		【車両配置替え】水難救助用水上バイク《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 牽引用トレーラー《境消防署→伊勢崎消防署南分署》
		【車両配置替え】水難救助用ゴムボート《伊勢崎消防署南分署→伊勢崎消防署》
	4月	・消防職員3人採用、前年度退職者2人。（職員数257人） ・前年度退職者2人を再任用する。（再任用職員数2人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成30年3月31日まで）
	11月	【施設】伊勢崎消防署南分署訓練塔木製パネル改修工事を行う。
平成29年	2月	【車両（更新）】広報連絡車（本部2）（消防本部）
		【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【施設】消防本部訓練塔が完成する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者2人。（職員数259人） ・前々年度退職者2人を再任用する。（再任用職員数2人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成32年3月31日まで）
	7月	【施設】伊勢崎消防署西分署空調設備機器等交換工事を行う。 【施設】東消防署空調設備機器等交換工事を行う。
平成30年	1月	【車両（更新）】災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	3月	【水利】伊勢崎消防署南分署に耐震性貯水槽（潜函工法）40㎡を設置する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者4人。（職員数259人） ・前年度退職者1人を再任用する。（再任用職員数1人）
	5月	【車両（新規）】危険物安全協会車2号車（消防本部）《危険物安全協会より寄贈》 ● 消防活動の協力に関する協定を株式会社サンケンと締結する。
	6月	● 消防活動の協力に関する協定を第一工業株式会社と締結する。
	7月	【車両（修繕）】38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	11月	【車両（修繕）】15m級はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。（境消防署） 【施設】伊勢崎消防署南分署車庫塗装工事を行う。
平成31年	1月	【施設】赤堀消防署訓練場舗装工事を行う。
	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	3月	【車両（廃車）】防火号（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者5人。（職員数258人） ・前年度退職者1人を再任用する。（再任用職員数2人）
令和元年	7月	【装備（更新）】水難救助用ボート（境消防署）
	9月	【装備（更新）】水難救助ボート用船外機（境消防署）
令和2年	2月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（東消防署）
	3月	【車両（更新）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署） 【車両（更新）】指令車（本部3）（消防本部）
	4月	・消防職員7人採用、前年度退職者4人。（職員数260人 ※市役所出向者除く） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数5人）

		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる（令和５年３月３１日まで）
令和３年	１月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	２月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署北分署）
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者５人。（職員数２６０人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数７人） ・消防本部に救急課（救急指導係・救急管理係）を新設する。 ・指揮調査課について、組織を警防課に移管し廃止する。 ・警防課について、上記組織の移管（１１人 指揮調査第１係・第２係）ほか、消防安全係を消防救助係に名称変更する。
	１２月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（東消防署）
令和４年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署）
	３月	【車両（更新）】資機材運搬車（消防本部）
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者７人。（職員数２５９人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数９人） ・定数条例を改正し、２６０人が２８３人となる。 ・群馬県総務部消防保安課へ職員を派遣する。（令和６年３月３１日まで） ● 大規模災害時の協力体制及び職員の教育に関する協定を群馬ボートライセンススクールと締結する。
	１２月	【車両配置換え】広報連絡車≪東消防署→消防本部≫
	１２月	【通信】高機能消防指令センターの部分更新が完了する。
令和５年	１月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
	３月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（玉村消防署）
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者２人。（職員数２６２人※市役所出向者除く） ・再任用職員数４人 ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和８年３月３１日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる。（令和８年３月３１日まで）

【参考】

本消防概要は、令和５年４月１日を基準として作成しておりますが、境消防署については、令和５年８月に新庁舎への移転が予定されております。新庁舎情報は、次のとおりです。

名称	位置	建物面積・構造
境消防署	〒370-0104 伊勢崎市境木島907番地	鉄骨造２階建 延904.26㎡ 訓練塔 56.40㎡ 消防団車庫 75.39㎡ 危険物倉庫 4.00㎡

消防署配置図

消防本部

伊勢崎市消防団本部	
人員	60名
指令車	4台
広報連絡車	4台
マイクロバス	1台
乗用車	1台
資機材運搬車	2台
指揮車	1台
火災調査車	1台
救急車(非常用)	2台

伊勢崎消防署

第1・第2方面隊本部	
人員	57名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	2台
はしご車	1台
化学車	1台
救助工作車Ⅲ型	1台
救助工作車Ⅱ型(非常用)	1台
指令車	1台
資機材運搬車	1台



伊勢崎消防署北分署

人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台

伊勢崎消防署西分署

人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台



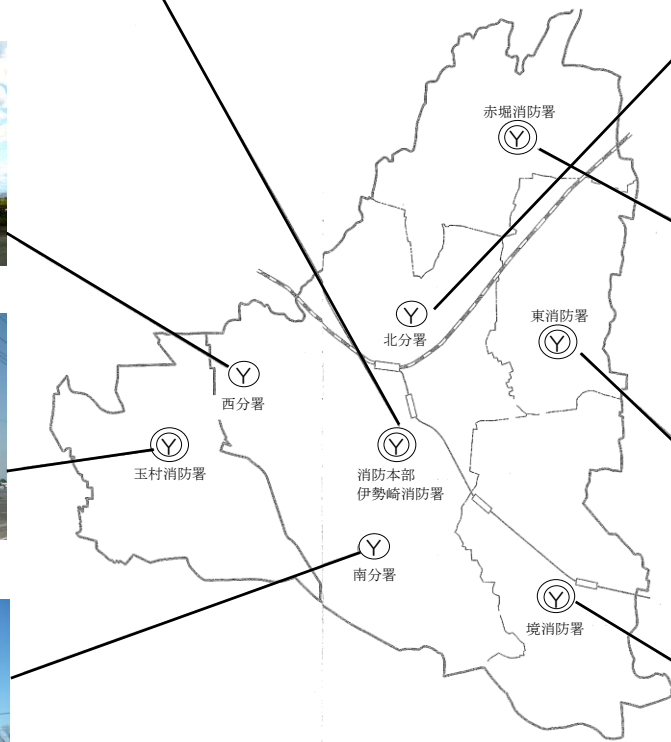
玉村消防署

人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台



伊勢崎消防署南分署

人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
資機材運搬車	1台
広報連絡車	1台
被牽引車	1台



赤堀消防署

赤堀方面隊本部	
人員	20名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台



東消防署

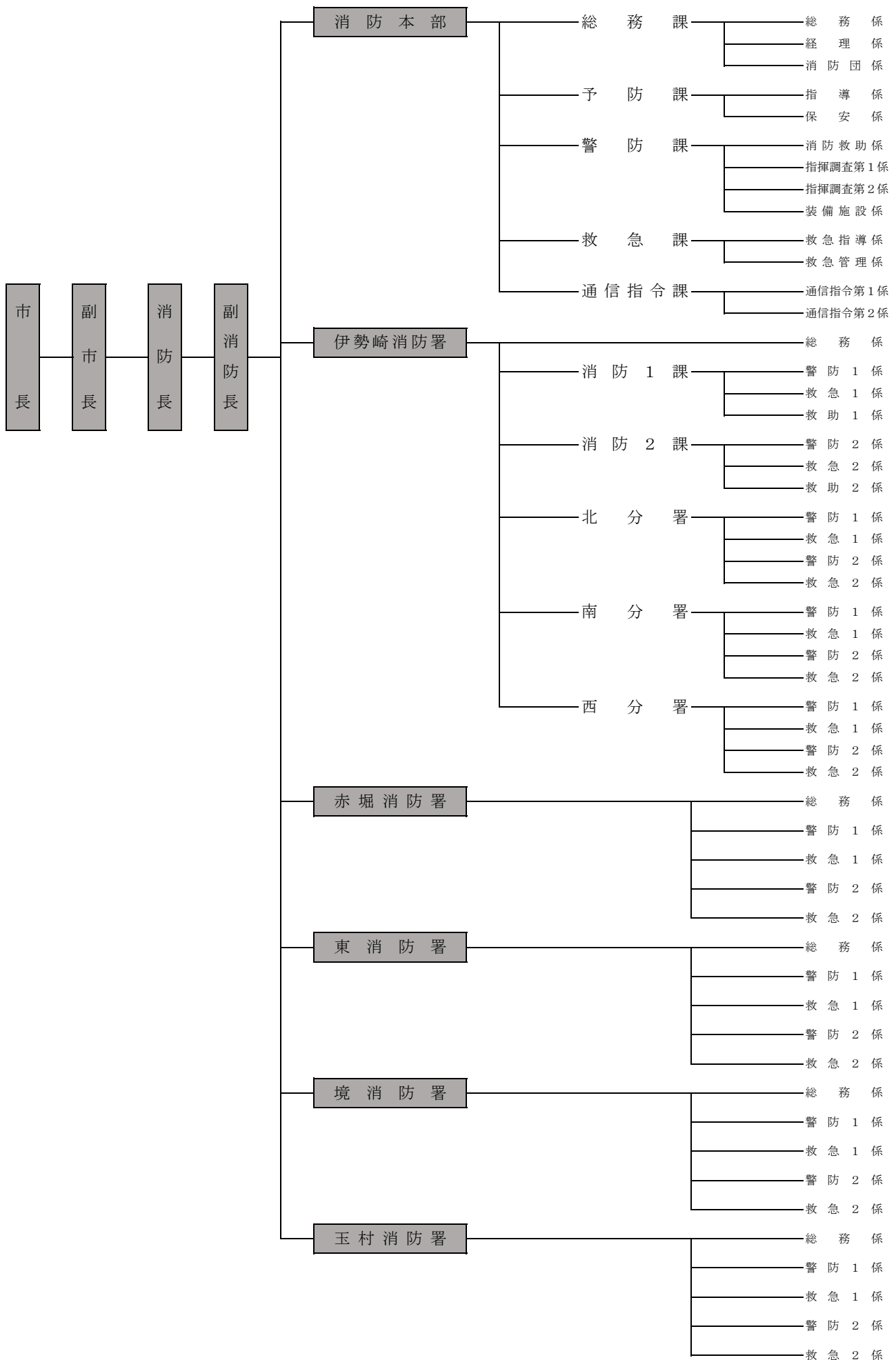
東方面隊本部	
人員	20名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台



境消防署

境方面隊本部	
人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台
はしご車	1台
資機材運搬車	1台

消 防 の 組 織



庁 舎 の 位 置 ・ 概 要

名 称	位 置	建物面積・構造	敷地面積(㎡)	竣工年月日	工事費(千円)	電話・FAX(0270)	メールアドレス
消 防 本 部 伊 勢 崎 消 防 署	〒372-0031 伊勢崎市今泉町二丁目895番地	鉄筋コンクリート造4階建 延4398.33㎡	7,161.92	H27. 3	1,197,434	TEL 25-3511 (総) FAX 26-9995	sh-soumu@city.isesaki.lg.jp
		屋内貯蔵所 鉄筋コンクリート造 平屋建 17.39㎡		H27. 3	3,109	TEL 25-3311 (予) TEL 25-3916 (警) FAX 70-4121	yobou@city.isesaki.lg.jp keibou@city.isesaki.lg.jp
		車庫 鉄骨造平屋建 674.90㎡		H25 .9	83,601 (リース物件)	TEL 25-3933 (救) TEL 25-3510 (通) FAX 25-3613	kyukyu@city.isesaki.lg.jp tsushin@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場(南) アルミ造平屋建 22.42㎡		H27. 3	978	TEL 25-3918 (伊) FAX 25-3650 TEL 25-3920 (伊救)	fd-isesaki@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場(北) アルミ造平屋建 20.00㎡		H27. 9	5,000		
		訓練塔 A 512.35㎡		H29. 3	197,121		
		訓練塔 B 36.00㎡		H29. 3	32,227		
		訓練塔 C 168.44㎡		H29. 3	50,176		
伊 勢 崎 消 防 署 北 分 署	〒372-0015 伊勢崎市鹿島町429番地5	鉄筋コンクリート造2階建 延558.05㎡ 訓練塔 16.00㎡	2,000.00	H 9. 3 H 9. 3	168,230 6,046	TEL 25-5247 FAX 50-8198	fd-kita@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 南 分 署	〒372-0834 伊勢崎市堀口町656番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延389.69㎡ 訓練塔 60.00㎡	2,131.42	S57. 3 S57. 3	72,905 上記金額に含まれる	TEL 32-0062 FAX 32-9695	fd-minami@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 西 分 署	〒372-0803 伊勢崎市宮古町89番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延443.67㎡ 器材倉庫 20.40㎡ 訓練塔 17.85㎡	3,204.00	H 5. 3 H 5. 9 H 8. 3	108,716 3,650 5,562	TEL 21-4545 FAX 50-8126	fd-nishi@city.isesaki.lg.jp
赤 堀 消 防 署	〒379-2204 伊勢崎市西久保町二丁目341番地3	鉄筋コンクリート造2階建 延676.11㎡ 訓練塔 52.81㎡ 危険物倉庫 3.97㎡ 器材倉庫 32.08㎡	4,950.00	H15. 3 H15. 3 H15. 3 H15. 3	178,565 14,066 787 946	TEL 62-0230 FAX 62-0199	fd-akabori@city.isesaki.lg.jp
東 消 防 署	〒379-2234 伊勢崎市東小保方町3238番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延473.30㎡ 危険物倉庫 4.00㎡ 器材倉庫 20.00㎡ 訓練塔 16.00㎡	4,200.49	H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3	106,965 1,100 2,180 4,960	TEL 62-8980 FAX 40-9167	fd-azuma@city.isesaki.lg.jp
境 消 防 署	〒370-0125 伊勢崎市境萩原1753番地	鉄筋コンクリート造2階建 延340.50㎡ 器材倉庫 9.10㎡ 危険物倉庫 3.25㎡ 車庫 鉄骨造平屋建 323.76㎡ 訓練塔 16.00㎡	2,751.12	S47. 3 S49. 2 S49. 3 S58. 3 H 2. 3	14,800 180 180 32,300 3,553	TEL 74-0012 FAX 74-0042	fd-sakai@city.isesaki.lg.jp
玉 村 消 防 署	〒370-1105 佐波郡玉村町大字福島548番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延699.18㎡ 危険物倉庫 3.25㎡ 訓練塔 17.85㎡	4,446.00	S63. 10 S63. 10 H 8. 3 H23. 2	72,500 上記金額に含まれる 5,510 (庁舎増築) 34,784	TEL 65-2982 FAX 65-3157	fd-tamura@city.isesaki.lg.jp

歴代の消防長

初代消防長	栗原 豊治郎 氏	(昭和46年 4月～昭和47年9月)
第2代消防長	高柳 良太 氏	(昭和47年10月～昭和50年3月)
第3代消防長	高橋 基樹 氏	(昭和50年 4月～昭和51年3月)
第4代消防長	栗林 啓三郎 氏	(昭和51年 4月～昭和53年2月)
第5代消防長	古池 巳之吉 氏	(昭和53年 3月～昭和53年6月)
第6代消防長	中野 美津夫 氏	(昭和53年 7月～昭和56年3月)
第7代消防長	細井 佐内 氏	(昭和56年 4月～昭和63年3月)
第8代消防長	古部 三郎 氏	(昭和63年 4月～平成元年3月)
第9代消防長	品川 忠弥 氏	(平成元年 4月～平成 4年3月)
第10代消防長	新井 静雄 氏	(平成 4年 4月～平成 6年3月)
第11代消防長	新井 周雄 氏	(平成 6年 4月～平成 9年3月)
第12代消防長	井埜 宗市 氏	(平成 9年 4月～平成10年3月)
第13代消防長	多田 紀一 氏	(平成10年 4月～平成13年3月)
第14代消防長	寺岡 勝 氏	(平成13年 4月～平成14年3月)
第15代消防長	栗原 康二 氏	(平成14年 4月～平成16年3月)
第16代消防長	田村 映 氏	(平成16年 4月～平成18年3月)
第17代消防長	高橋 溥 氏	(平成18年 4月～平成19年3月)
第18代消防長	岡田 充博 氏	(平成19年 4月～平成20年3月)
第19代消防長	清水 政利 氏	(平成20年 4月～平成21年3月)
第20代消防長	田島 武雄 氏	(平成21年 4月～平成24年3月)
第21代消防長	毒島 吉一 氏	(平成24年 4月～平成26年3月)
第22代消防長	吉田 純一 氏	(平成26年 4月～平成27年3月)
第23代消防長	笠原 仁 氏	(平成27年 4月～平成29年3月)
第24代消防長	小島 輝男 氏	(平成29年 4月～平成30年3月)
第25代消防長	大澤 芳夫 氏	(平成30年 4月～平成31年3月)
第26代消防長	五十嵐 博充 氏	(平成31年 4月～令和 3年3月)
第27代消防長	鈴木 義人 氏	(令和 3年 4月～令和 4年3月)
第28代消防長	秋山 晴彦 氏	(令和 4年 4月～令和 5年3月)
第29代消防長	丹野 武志	(令和 5年 4月～

総務



職 員 の 配 置 状 況

(令和5年4月1日現在)

階 級 別 配 置 別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
条 例 定 数	283									
実 員	262 (4)	1	5	14	35	114	49 (4)	30	14	0
消 防 長	1	1								
副 消 防 長	1		1							
消 防 本 部	58 (2)		1	6	13	27	11 (2)			
総 務 課	11			1	3	5	2			
予 防 課	8 (1)			1	2	1	4 (1)			
警 防 課	17			3	4	9	1			
救 急 課	5 (1)		1		1	3	(1)			
通 信 指 令 課	14			1	3	6	4			
本 部 付	3					3				
伊 勢 崎 消 防 署	114 (2)		1	6	10	48	22 (2)	21	6	
伊 勢 崎 署	57 (2)		1	3	4	22	11 (2)	12	4	
北 分 署	19			1	2	8	4	3	1	
南 分 署	19			1	2	9	4	3		
西 分 署	19			1	2	9	3	3	1	
赤 堀 消 防 署	20			1	3	8	4	2	2	
東 消 防 署	20			1	3	10	1	3	2	
境 消 防 署	24		1		3	10	7	1	2	
玉 村 消 防 署	24		1		3	11	4	3	2	

()は再任用職員

職 員 の 階 級 別 年 齢 状 況

(令和5年4月1日現在)

階 級 別 年 齢 別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
総 数	262 (4)	1	5	14	35	114	49 (4)	30	14	0
18 歳	1								1	
19 歳	2								2	
20 歳	1								1	
21 歳	3								3	
22 歳	3								3	
23 歳	5							2	3	
24 歳	5							4	1	
25 歳	4							4		
26 歳	5							5		
27 歳	4							4		
28 歳	4							4		
29 歳	8						2	6		
30 歳	4						3	1		
31 歳	13						13			
32 歳	10						10			
33 歳	7						7			
34 歳	7					1	6			
35 歳	12					8	4			
36 歳	12					8	4			
37 歳	8					8				
38 歳	10					10				
39 歳	6					6				
40 歳	8					8				
41 歳	4					4				
42 歳	8					8				
43 歳	4					4				
44 歳	9					9				
45 歳	6					6				
46 歳	10					10				
47 歳	8				3	5				
48 歳	13				5	8				
49 歳	7				2	5				
50 歳	8				5	3				
51 歳	9				6	3				
52 歳	4				4					
53 歳	7			3	4					
54 歳	4			2	2					
55 歳	7			4	3					
56 歳	1				1					
57 歳	4			4						
58 歳	3		2	1						
59 歳以上	4 (4)	1	3				(4)			

※平均年齢 39.6 歳(再任用職員除く)

()は再任用職員

職員の階級別勤続状況

(令和5年4月1日現在)

階級別 年齢別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
総 数	262 (4)	1	5	14	35	114	49 (4)	30	14	0
1 年未満	5								5	
1 年	6								6	
2 年	5							4	1	
3 年	6							4	2	
4 年	3							3		
5 年	4							4		
6 年	4						1	3		
7 年	3						1	2		
8 年	8						6	2		
9 年	15						11	4		
10 年	15					1	12	2		
11 年	12					3	7	2		
12 年	8					3	5			
13 年	4					2	2			
14 年	16					14	2			
15 年	10					8	2			
16 年	6					6				
17 年	7					7				
18 年	4					4				
19 年	9					9				
20 年	8					8				
21 年	6					6				
22 年	5					5				
23 年	5					5				
24 年	4					4				
25 年	5				1	4				
26 年	12				3	9				
27 年	11				5	6				
28 年	0									
29 年	8			1	7					
30 年	14			2	6	6				
31 年	10		1	2	3	4				
32 年	5				5					
33 年	7			3	4					
34 年	2			2						
35 年	2		1	1						
36 年	2		1	1						
37 年	1 (1)			1			(1)			
38 年	2 (1)			1	1		(1)			
39 年	1		1							
40 年	0									
41 年	2 (1)	1	1				(1)			
42 年以上	0 (1)						(1)			

()は再任用職員

教育訓練・研修等実施状況

消防大学校

(令和5年4月1日現在)

課 程	平成26年度以前	27	28	29	30	令和元年度	2	3	4	合計
幹 部 科	6			1	1					8
上 級 幹 部 科	1									1
警 防 科	10					1				11
予 防 科	13							1		14
危 険 物 科	1	1							1	3
救 急 科	6		1		1				1	9
救 助 科	6			1						7
トップセミナー	1									1
火災調査科	4	1				1				6
新任教官科	1									1
合 計	49	2	1	2	2	2	0	1	2	61

群馬県消防学校

(令和5年4月1日現在)

課 程	平成26年度以前	27	28	29	30	令和元年度	2	3	4	合計
初 任 科	277	12	11	5	4	4	7	5	6	331
予防査察科	70	3	3	3	4	4	4	3	3	97
危 険 物 科	65	3	3	3	4	4	4	3	3	92
火災調査科	63	3	3	3	4	4	4	3	3	90
警 防 科	110	3	3	3	4	4	4		3	134
無線通信課程	102	1								103
救 助 科	79	2	2	2	2	3	2	2	2	96
救急Ⅱ課程	62									62
救 急 科	155	12	14	14	6	5	6	2	3	217
初級幹部科	25		2			2				29
中級幹部科	25			2						27
上級幹部科	6	2			2				2	12
はしご自動車課程	44									44
音 楽 課 程	54									54
ポンプ操法指導員	63	5		5		5				78
気管挿管講習	14									14
救急隊長講習	8									8
ビデオ喉頭鏡講習	4	3	1	3	1			1	1	14
合 計	1226	49	42	43	31	35	31	19	26	1502

救急救命士

	平成26年度以前	27	28	29	30	令和元年度	2	3	4	5
救急救命士数(人)		57	58	60	63	65	66	68	72	76
養成者数(人)	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1

部内研修実施状況

(令和4年度)

研修種別	回数	人数	時間	場所	担当課
チェーンソー作業簡易特別教育	2	16	2 時間	消防本部	総務課
消防大学校修了者研修	2	90	2 時間	消防本部	総務課
防災航空隊派遣終了者研修	2	51	1.5時間	消防本部	総務課
火災調査研修	25	125	25時間	各署・分署	警防課
指揮研修	5	25	5時間	各署・分署	警防課
指導救命士修了者による救急隊員生涯教育	10	167	2～3時間	各署・分署	救急課
救急隊長研修	2	41	2時間	消防本部	救急課

部外研修実施状況

(令和4年度)

研修種別	人数	実施機関
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	(一社) 群馬労働基準協会連合会
玉掛け技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型移動式クレーン運転技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型船舶操縦士免許取得講習 (2 級)	2	群馬県ボートライセンススクール
小型船舶操縦士免許取得講習 (特殊)	2	群馬県ボートライセンススクール
潜水士免許試験受験準備講習会	2	(一財) 安全衛生普及センター
伐木造材作業 (チェーンソー作業) 特別教育	1	林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部
消防実務講習会 (神奈川県横浜市)	1	(一財) 全国消防協会関東地区支部
共済基幹システム説明会 (前橋市)	1	(公社) 全国市有物件災害共済会関東地区事務局
自動車事故セミナー	1	(公社) 全国市有物件災害共済会
外傷セミナー【J P T E C】インストラクターコース	1	群馬県総務部消防保安課
蘇生トレーニング【I C L S】プロバイダーコース	3	前橋赤十字病院・伊勢崎市民病院
蘇生トレーニング【I C L S】インストラクターコース	2	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
群馬M C L S 標準コース (前橋市)	7	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
群馬M C L S インストラクターコース (前橋市)	1	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
D M A T 研修	1	群馬県健康福祉部医務課
災害医療研修	2	群馬県総務部消防保安課・群馬県健康福祉部医務課
症例検証会 (管内告示病院・1 1 回)	147	伊勢崎地域メディカルコントロール協議会
前橋赤十字病院症例検討会	49	前橋赤十字病院

職員特殊技能資格取得表

(令和5年4月1日現在)

階級別 種別			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車免許	大型	1 種	1	5	14	35	110	49	26		240
		2 種					1				1
	自動二輪車		1	2	6	18	35	16	3	3	84
	特 殊 車			1			5				6
小型船舶	1 級					2	2				4
	2 級			2	6	16	47	11	1		83
	特 殊			1	6	17	33	11	3		71
潜 水 士				1	1	4	22	7	1		36
自動車整備士	ガソリン						2				2
	ディーゼル						1				1
無線	特 殊			5	14	35	114	49	30	9	256
	アマチュア				4	8	1				13
ボイラー技士		2 級					2				2
溶接士	電 気					5	5	1	1		12
	ガ ス				1	6	8	1	2		18
電 気 工 事 士					1	1	5	1			8
消防設備士	甲 種					1	3	1			5
	乙 種				1	8	8	2			19
危険物	甲 種					1	2				3
	乙 種			2	8	19	49	12	8	4	102
衛生管理者	1 種					1					1
	2 種			2	3	4	4				13
玉 掛 け				1	5	9	28	8	1		52
ク レ ー ン				1	5	10	28	8	1		53
酸素欠乏危険作業主任者				1	5	11	36	4			57
毒劇物取扱主任者							4				4

令和4年度職場衛生管理状況

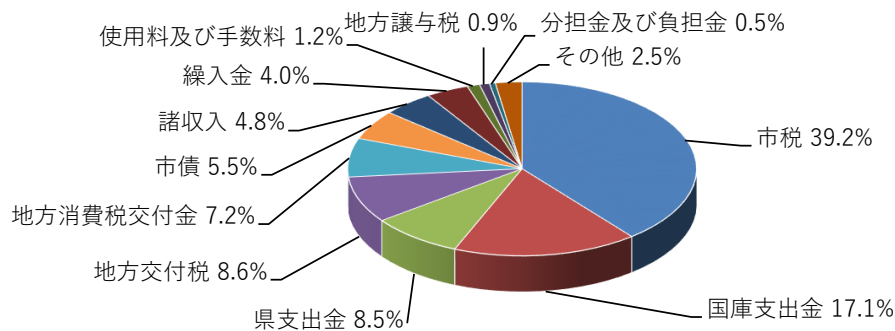
内 容	実 施 日	受診人数(人)	備 考
健 康 診 断	6/16・17	162	深夜業務従事者
	12/13・14	128	全職員（ドック受診者除く）
	1/11	5	初任科入校予定者
人 間 ド ッ ク	指定日	176	日帰り・一泊・脳
B 型 肝 炎 予 防 検 診	指定日	11	
流 行 性 ウ イ ル ス 疾 患 予 防 検 診	指定日	51	麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘
衛 生 管 理 規 程 に 基 づ く 職 場 巡 視	7/21	巡視者：衛生委員、衛生管理者、職員課職員	

1. 令和5年度一般会計当初予算

①歳入

(単位：千円)

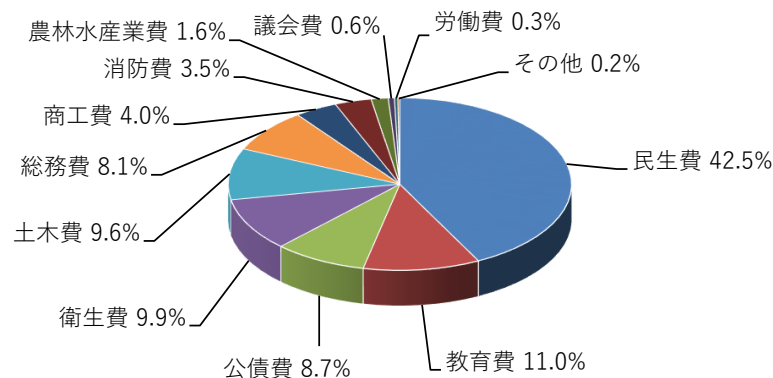
歳入科目	本年度予算額	比率 (%)
市税	31,489,491	39.2
国庫支出金	13,724,817	17.1
県支出金	6,864,345	8.5
地方交付税	6,920,000	8.6
地方消費税交付金	5,790,000	7.2
市債	4,435,400	5.5
諸収入	3,817,422	4.8
繰入金	3,182,157	4.0
使用料及び手数料	932,316	1.2
地方譲与税	742,316	0.9
分担金及び負担金	440,314	0.5
その他	1,978,422	2.5
歳入合計	80,317,000	100



②歳出

(単位：千円)

目的別区分	本年度予算額	比率 (%)
民生費	34,092,996	42.5
教育費	8,813,017	11.0
公債費	7,018,899	8.7
衛生費	7,982,255	9.9
土木費	7,717,006	9.6
総務費	6,528,731	8.1
商工費	3,232,299	4.0
消防費	2,773,712	3.5
農林水産業費	1,288,828	1.6
議会費	456,593	0.6
労働費	262,464	0.3
その他	150,200	0.2
歳出合計	80,317,000	100



2. 令和5年度消防費予算額

(単位：千円)

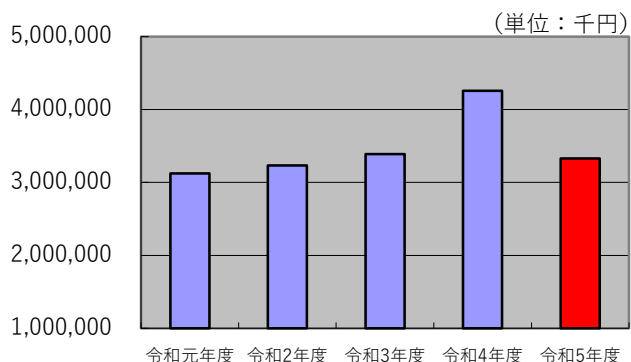
区分 市町名	消 防 費 予 算 額 A	一 般 会 計 予 算 額 B	比 率 A/B (%)
伊 勢 崎 市	2,773,712	80,317,000	3.5
玉 村 町	555,686	11,560,000	4.8
合 計	3,329,398	91,877,000	3.6

3. 予算と人口、世帯数との比較（過去5年間）

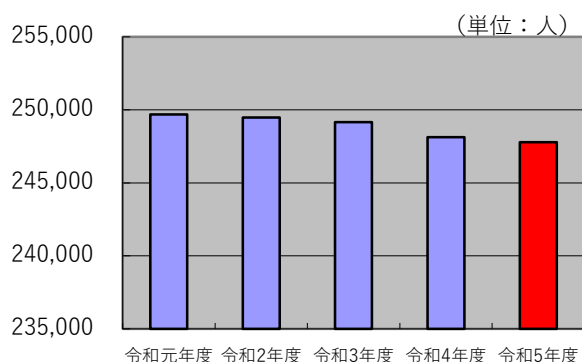
(4月1日現在)

区分 年度	消 防 費 当初予算額(千円)	人 口 (受託地域を含む)		世 帯 (受託地域を含む)	
		人 口	1人当たり(円)	世 帯 数	1世帯当たり(円)
令和元年度	3,124,110	249,680	12,512	105,448	29,627
令和2年度	3,233,142	249,479	12,960	106,786	30,277
令和3年度	3,391,066	249,157	13,610	108,267	31,321
令和4年度	4,255,556	248,134	17,150	108,956	39,058
令和5年度	3,329,398	247,783	13,437	110,509	30,128

消防費当初予算額推移



人口推移

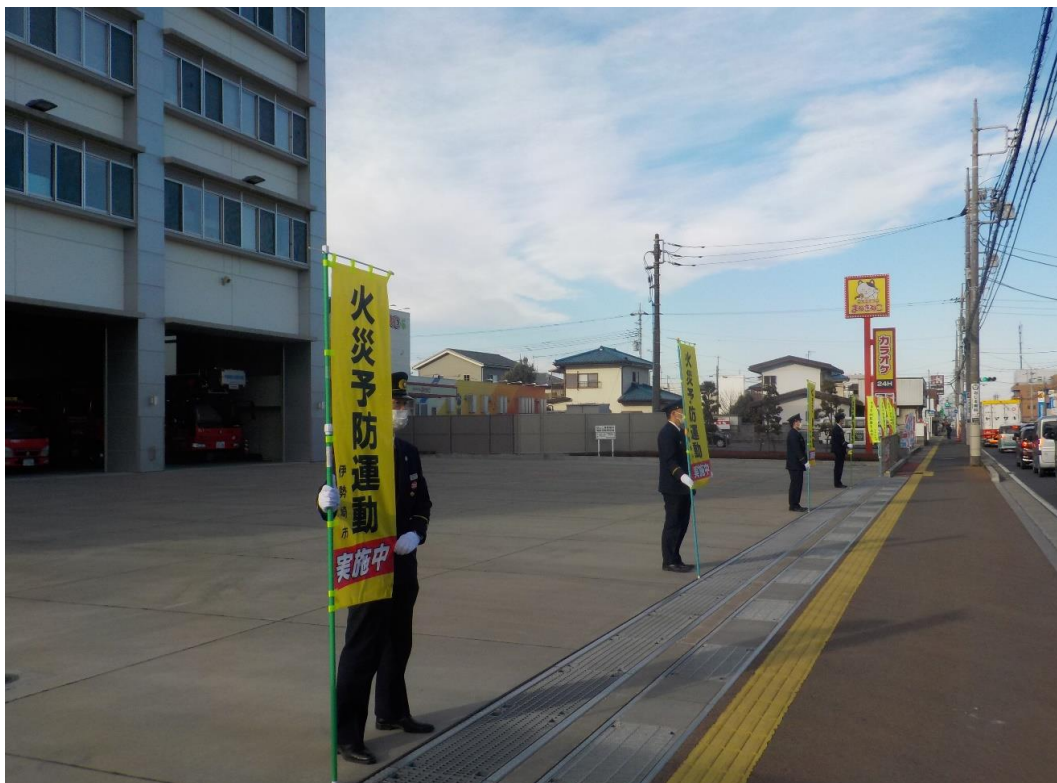


4. 伊勢崎市消防費決算額（過去5年間）

(単位：円)

目別 年度別	常 備 消 防 (人件費含) 決 算 額	非 常 備 消 防 費 決 算 額	消防施設費 決 算 額	水 防 費 決 算 額	合 計
平成30年度	2,238,992,185	154,778,791	183,829,918	665,799	2,578,266,693
令和元年度	2,285,766,014	153,057,919	150,948,448	1,156,783	2,590,929,164
令和2年度	2,285,034,650	149,860,775	227,973,682	643,469	2,663,512,576
令和3年度	2,317,233,220	139,625,824	321,078,270	557,736	2,778,495,050
令和4年度	2,366,362,361	142,333,717	556,068,939	667,618	3,065,432,635

予 防



秋の全国火災予防運動街頭啓発活動
(消防本部前)

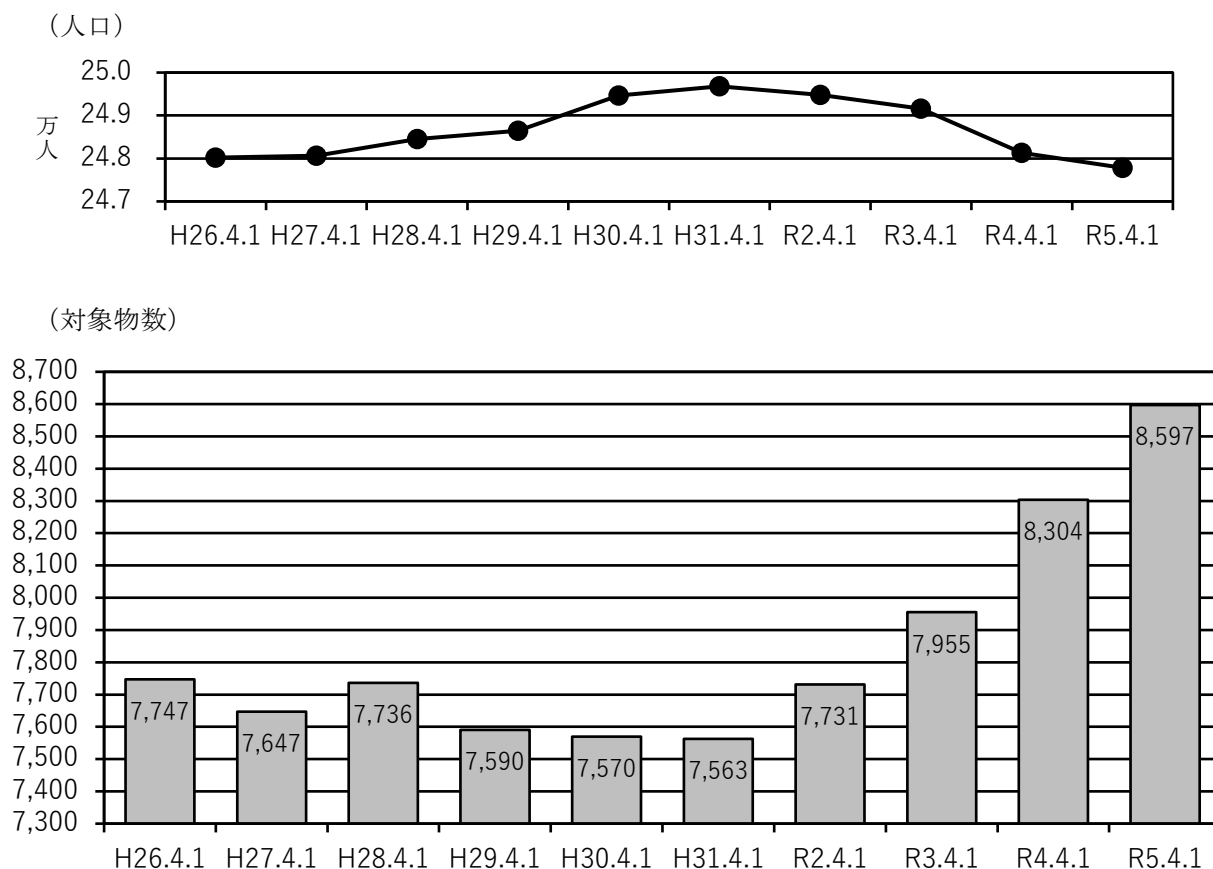
火を消して 不安を消して つなぐ未来
(令和5年度全国統一防火標語)

意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ
(令和5年度危険物安全週間推進標語)

査 察 対 象 物

管内における査察対象物は、年々増加傾向にあり、特に高齢化社会の進展に伴い、高齢者福祉施設等が増加傾向にあります。

管内人口の推移と査察対象物の状況



地下タンク据付検査

査察対象物の現況

(令和5年4月1日現在)

市町村別			伊勢崎市	玉村町	合 計
項別					
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	8		8
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	81	12	93
2	イ	キヤットパレ等	25		25
	ロ	ダンスホール・遊技場	28	4	32
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	8		8
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	4		4
	ロ	飲 食 店	348	58	406
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	484	39	523
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	81		81
	ロ	共 同 住 宅 等	1,226	121	1,347
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	169	21	190
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	144	25	169
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	220	39	259
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	34	2	36
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等	156	46	202
8		図 書 館 等	4		4
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等	4		4
	ロ	公 衆 浴 場 等	2		2
10		車 両 ・ 停 車 場 等	3		3
11		神 社 ・ 教 会 等	49	3	52
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,946	276	2,222
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	65	12	77
	ロ	格 納 庫 等	1		1
14		倉 庫	1,388	236	1,624
15		事 務 所 等	646	95	741
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	284	21	305
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	131	30	161
17		重 要 文 化 財 等	17	1	18
合 計			7,556	1,041	8,597

中高層建築物棟数（４階以上）

（ ）内数字は１１階以上又は高さ３１mを越える査察対象物数

（令和５年４月１日現在）

市町村別			伊勢崎市	玉村町	合 計
項別					
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	1		1
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	3		3
2	イ	キ ナ イ ャ ト バ ク ラ レ ー 等	1		1
	ロ	ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場	1		1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店			
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	4		4
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	14(2)		14(2)
	ロ	共 同 住 宅 等	174(7)		174(7)
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	8(1)		8(1)
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	3		3
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	3		3
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1		1
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等	14(1)	2	16(1)
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	13	3	16
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	2		2
	ロ	格 納 庫 等			
14		倉 庫	2		2
15		事 務 所 等	28(1)	3	31(1)
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 （ 特 定 ）	28(4)	2	30(4)
	ロ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 （ 上 記 以 外 ）	11	2(1)	13(1)
合 計			311(16)	12(1)	323(17)

1 1 階 以 上	8	1	9
1 0 階	4		4
9 階	3		3
8 階	4		4
7 階	11		11
6 階	26	2	28
5 階	51		51
4 階	204	9	213
合 計	311	12	323

査察対象物の立入検査状況

(令和4年度)

項別対象物数（査察対象物台帳の数とする）			伊勢崎市	玉村町	合 計
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	2		2
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	16		16
2	イ	キ ナ イ ヤ ト バ ク ラ レ プ ー 等	4		4
	ロ	ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場	3	2	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	1		1
	ロ	飲 食 店	26	3	29
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	65	9	74
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	9		9
	ロ	共 同 住 宅 等	53		53
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	20	2	22
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	27	1	28
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	13	2	15
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	2		2
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等	9	1	10
8		図 書 館 等			
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等	2		2
	ロ	公 衆 浴 場 等			
10		車 両 ・ 停 車 場 等			
11		神 社 ・ 教 会 等	1		1
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	135	9	144
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	2		2
	ロ	格 納 庫 等			
14		倉 庫	57	21	78
15		事 務 所 等	26	2	28
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	48	7	55
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	13	2	15
17		重 要 文 化 財 等	1		1
		そ の 他			
		合 計	537	61	598

各種届出等の状況

(令和4年度)

種別		署別					合 計
種別		伊勢崎署	赤堀署	東 署	境 署	玉村署	合 計
炉							
暖 房 設 備							
温 風 暖 房 機			1				1
ボイラー・給湯湯沸設備		19	3	2	10	4	38
乾 燥 設 備		4	5	5	1	4	19
サ ウ ナ 設 備							
ヒートポンプ冷暖房機							
火 花 を 生 ず る 設 備							
放 電 加 工 機							
燃 料 電 池 発 電 設 備							
発 電 設 備		3	1		2	3	9
変 電 設 備		26	13	3	6	8	56
急 速 充 電 設 備		1					1
蓄 電 池 設 備		5			1	1	7
ネ オ ン 管 灯 設 備							
水素ガスを充てんする気球							
火災と紛らわしい煙又は火災を 発するおそれのある行為		29	2	8	7	9	55
煙 火 打 上 げ 仕 掛 け		11	2	3	1		17
催 物 開 催		1				4	5
水 道 断 水 ・ 減 水							
道 路 工 事		5	4	7	1	39	56
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い		44	17	6	10	14	91
指 定 可 燃 物		9	9	1	3		22
消 阻 火 害 活 物 動 質	圧縮アセチレンガス	1		1	2		4
	液 化 石 油 ガ ス	47	6	7	8	7	75
	毒 物 劇 物	8					8
	そ の 他 の 物 質						
露 店 等 の 開 設 届 出 書		34	3	4	4	9	54
防火安全に関する意見書							
風俗営業に関する意見書		5					5
合 計		252	66	47	56	102	523

建 築 ・ 設 備 建 築 同 意 事 務 処 理 の 推 移

市町村別 \ 年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
伊勢崎市	394	395	348	313	328
玉村町	59	49	28	32	36
合 計	453	444	376	345	364

計 画 通 知 事 務 処 理 の 推 移

市町村別 \ 年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
伊勢崎市	5	13	7	10	4
玉村町					
合 計	5	13	7	10	4

建 築 通 知 事 務 処 理 の 推 移

市町村別 \ 年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
伊勢崎市	1,239	1,147	1,055	1,210	1,155
玉村町	196	211	140	186	143
合 計	1,435	1,358	1,195	1,396	1,298

月別建築同意件数

(令和4年度)

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
項 別														
1	イ 劇 場 ・ 映 画 館 等													
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	1												1
2	イ キ ャ バ レ ッ ト ク ラ ブ 等													
	ロ ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場			1										1
	ハ 性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗 等													
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等													
	ロ 飲 食 店		1	1	1	1	1	1				1	2	9
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	3	2	4	1	5	2		2	1		1	2	23
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等													
	ロ 共 同 住 宅 等	1	1	2	2	2			1	1	1	1		12
6	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	1	1	1				3		1				7
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等					1	1				1		1	4
	ハ 老 人 デ イ サ ー ビ ス 等			1	1		1	1		1	1		1	7
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校													
7	小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等				1				1			1		3
8	図 書 館 等													
9	イ サ ウ ナ 浴 場 等													
	ロ 公 衆 浴 場 等													
10	車 両 ・ 停 車 場 等													
11	神 社 ・ 教 会 等	1										1		2
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	5	3	5	3	4	2	2	1	1	4	5	5	40
	ロ 映 画 ・ ス タ ジ オ 等													
13	イ 車 庫 ・ 駐 車 場 等			1		1			1		1	1		5
	ロ 格 納 庫 等													
14	倉 庫	1		1		4	1	1	4	3	3	2	2	22
15	事 務 所 等	32	6	6		3	9	3	9	6	8	7	5	94
16	イ 複 合 用 途 防 火 対 象 物 (特 定)	1	1		1	1	1	1			1		1	8
	ロ 複 合 用 途 防 火 対 象 物 (上 記 以 外)					2			1		1		1	5
17	重 要 文 化 財 等													
18	ア ー ケ ー ド													
そ の 他		11	8	9	8	9	16	17	12	4	10	8	9	121
合 計		57	23	32	18	33	34	29	32	18	31	28	29	364

査察対象物の検査状況

(令和4年度)

市町村別			伊勢崎市	玉村町	合 計
項別					
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場			
2	イ	キ ナ イ ト バ レ ッ プ 等			
	ロ	ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	3		3
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	11	2	13
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	1		1
	ロ	共 同 住 宅 等	3		3
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2		2
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	2	3	5
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	20	2	22
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校			
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等	1	1	2
8		図 書 館 等			
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場 等			
10		車 両 ・ 停 車 場 等	1		1
11		神 社 ・ 教 会 等			
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	64	6	70
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	1		1
	ロ	格 納 庫 等			
14		倉 庫	29	10	39
15		事 務 所 等	13	2	15
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	4		4
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	1	1	2
17		重 要 文 化 財 等	1		1
そ の 他					
合 計			157	27	184

消防用設備等の検査状況

消防用設備等には、消火設備・警報設備・避難設備などの「消防の用に供する設備」、防火水槽・貯水池等の「消防用水」また消防隊が使用する「消火活動上必要な施設」などがあります。令和4年度中にこれらの設備の設置に伴う検査をしたものが下記の表であり、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備」をその他として示しています。

(令和4年度)

消 火 設 備									警 報 設 備						避難設備			消	消火活動上 必要な施設					その他					
消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備 （ 非 常 ベ ル 等 ）	非 常 警 報 設 備 （ 放 送 設 備 ）	避 難 器 具	誘 導 標 識		誘 導	防 用 水	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	共 同 住 宅 用 自 動 火 災 報 知 設 備	合 計
72	13	7						11	8	156		1	11	1	6	6	58		1							12	1		364



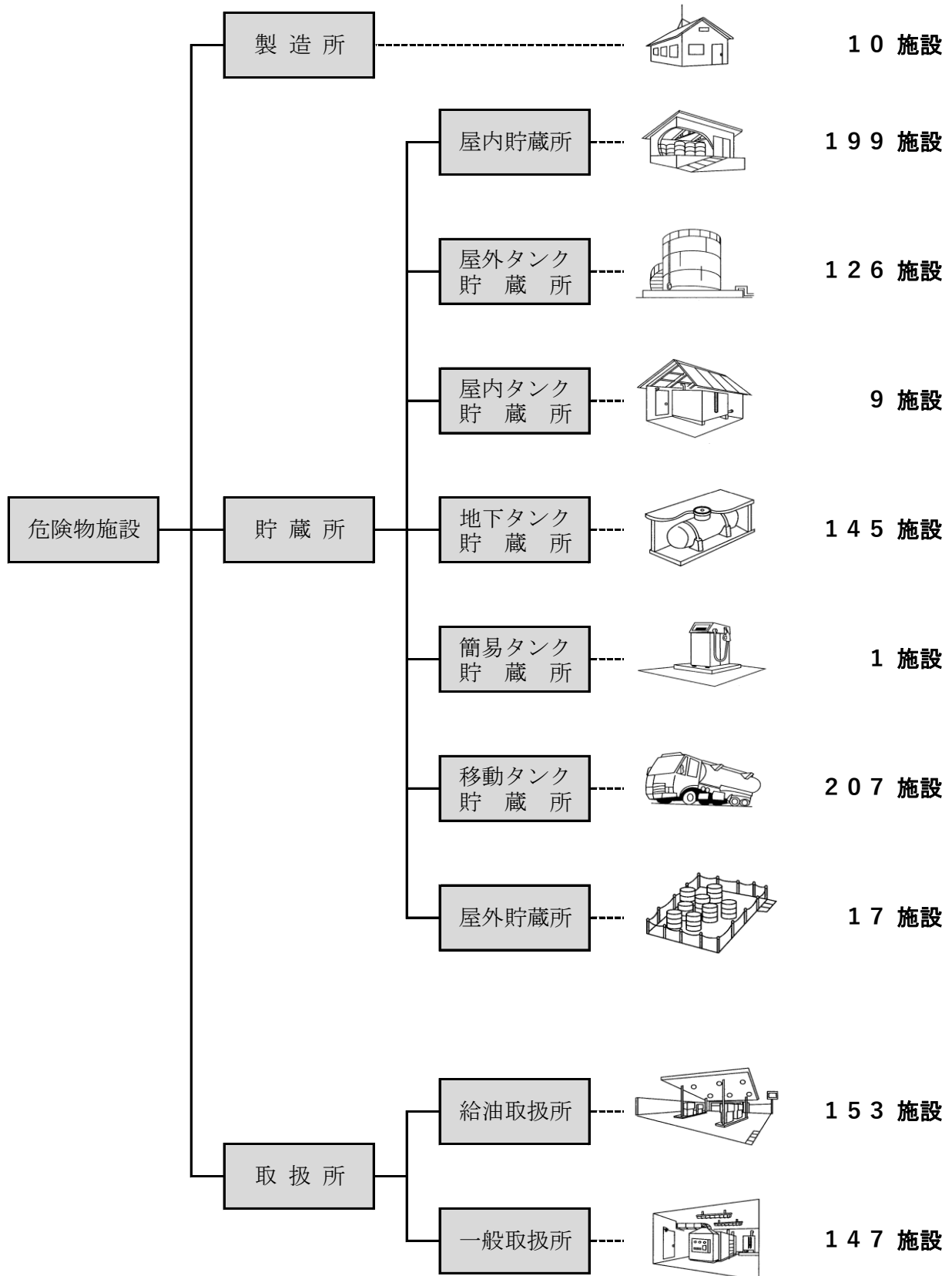
自動火災報知設備の消防検査

防火対象物定期点検及び防災管理

	伊勢崎市	玉村町	合計
防火対象物定期点検が必要な建築物	129	11	140
防災管理者が必要な建築物	12	1	13

※防火対象物定期点検とは、多数の人が出入りする一定の防火対象物について、管理権原を有する人が火災予防のため資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告するものです。
※防災管理者が必要な建築物とは、大規模・高層の建築物等で一定の規模以上の防火対象物です。

危険物施設



危険物製造所等の設置状況

(令和5年4月1日現在)

製造所等の別 市町別		指 定 数 量 の 倍 数 別									市町別	
		5倍 以下	5倍 を超え 10倍 以下	10倍 を超え 50倍 以下	50倍 を超え 100倍 以下	100倍 を超え 150倍 以下	150倍 を超え 200倍 以下	200倍 を超え 1000倍 以下	1000倍 を超え 5000倍 以下	合 計	伊 勢 崎 市	玉 村 町
製 造 所			2	3	3		1	1		10	7	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	86	53	29	14	6	5	3	3	199	177	22
	屋外タンク貯蔵所	48	19	38	12	2	3	4		126	119	7
	屋内タンク貯蔵所	5	3	1						9	6	3
	地下タンク貯蔵所	60	34	35	13	1		2		145	114	31
	簡易タンク貯蔵所	1								1	1	
	移動タンク貯蔵所	142	5	14	35	11				207	59	148
	屋 外 貯 蔵 所	6	6	5						17	17	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	6	13	67	8	10	9	40		153	115	38
	一 般 取 扱 所	62	49	30	4			2		147	119	28
合 計		416	184	222	89	30	18	52	3	1,014	734	280
市 町 別	伊 勢 崎 市	273	152	179	51	16	16	46	2	735		
	玉 村 町	143	32	43	38	14	2	6	1	279		

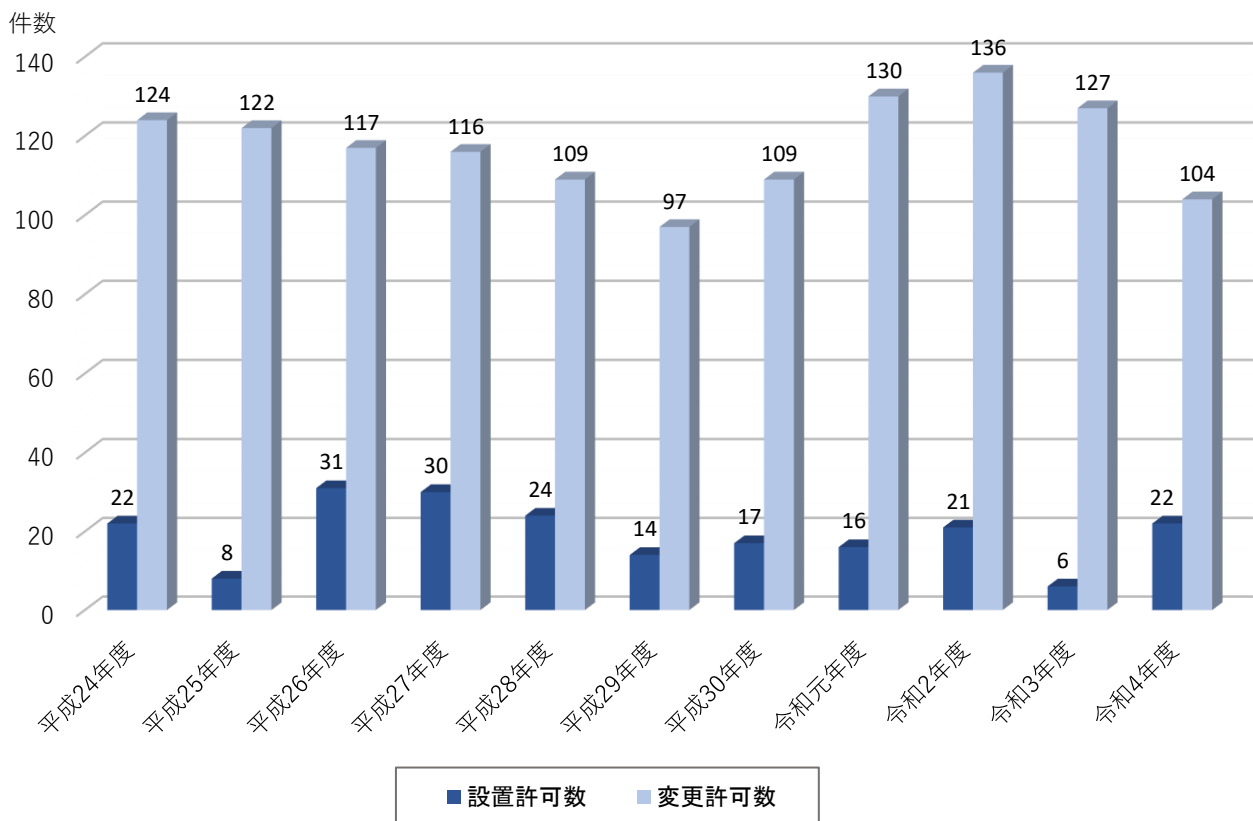
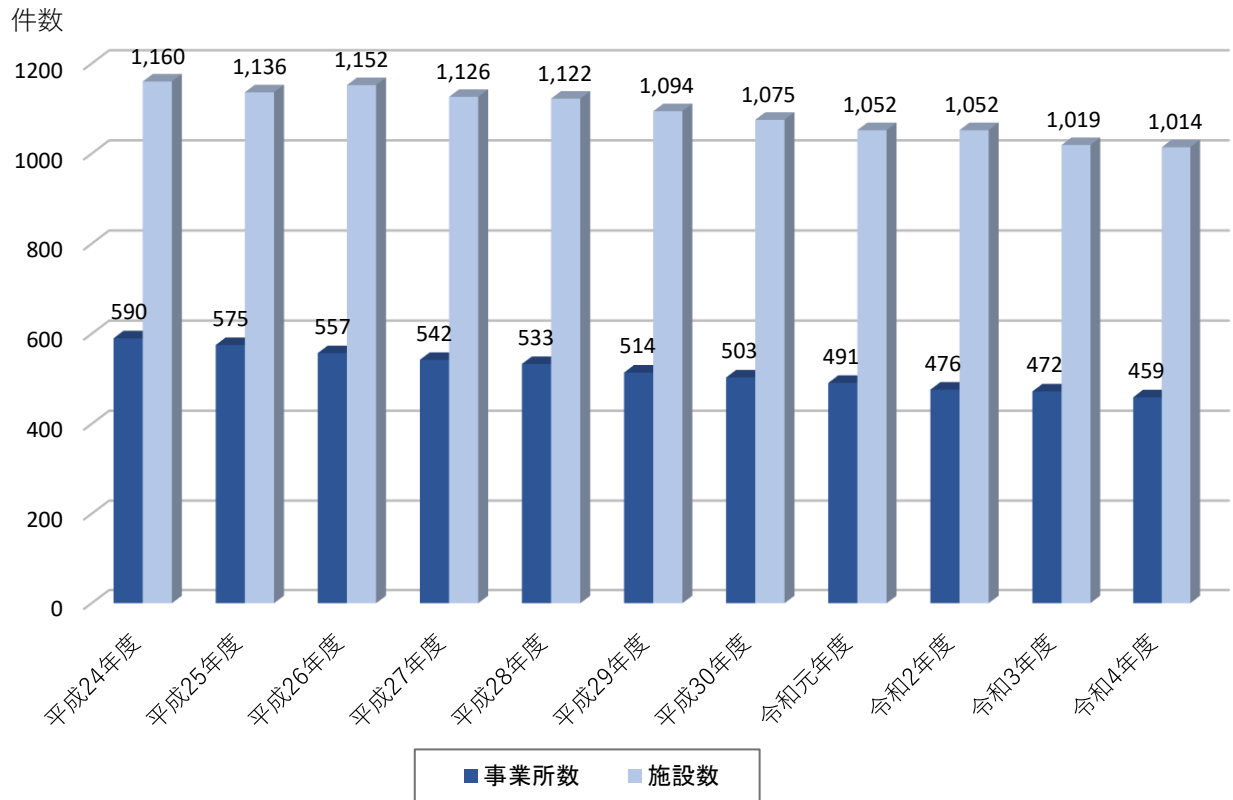
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数

(令和4年度)

製造所等の別 市町別 許可・検査・届出の区分		製 造 所	貯 蔵 所							取扱所		合 計	市町別	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク貯蔵所	屋 内 タンク貯蔵所	地下 タンク貯蔵所	簡 易 タンク貯蔵所	移 動 タンク貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所		伊 勢 崎 市	玉 村 町
許 可	設 置		5			1		12		4		22	11	11
	変 更	5		1		4		77		12	5	104	26	78
完成検査	設 置		2					11		4		17	7	10
	変 更	5	1	1		5		72		13	4	101	28	73
仮 使 用 承 認		2				2				12	3	19	15	4
予 防 規 程		1								11		12	9	3
保安監督者選解任届		4	23	29		7			2	27	15	107	93	14
関 係 資 料 提 出 書		7	43	21	1	29		22	4	68	55	250	206	44
譲 渡 引 渡 届								71		1		72	2	70
種類・数量変更届			8			2		2		1	7	20	13	7
廃 止 届			4	12		7		3		4	6	36	27	9
火 気 使 用 届														
仮貯蔵・仮取扱承認												8	7	1
液化石油ガス等の 意 見 書														
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届												3	3	
完成検査 前 検 査	タ ン ク 水張検査											120 (105)	120 (105)	()
	タ ン ク 水圧検査											54 (2)	54 (2)	()

※ () は少量タンク

危険物製造所等施設数及び事業所数の推移



警 防

消 防 救 助



令和4年度 両毛地区消防本部特殊災害訓練の様子

消防隊出動状況

(令和4年中)

月 別 種 別			合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災出動	建物	件数	39	4	6	1	4	7	0	6	2	0	3	1	5
		隊数	210	22	39	7	22	33	0	35	2	0	20	1	29
		人員	708	80	134	25	80	110	0	104	7	0	64	5	99
	車両	件数	14	0	0	3	2	1	2	1	3	0	1	0	1
		隊数	52	0	0	13	7	3	7	6	10	0	4	0	2
		人員	154	0	0	41	19	9	21	14	30	0	13	0	7
	その他	件数	26	5	2	4	3	0	3	2	0	4	1	0	2
		隊数	101	18	9	15	6	0	9	7	0	22	2	0	13
		人員	339	60	33	49	24	0	28	20	0	75	7	0	43
	小 計	件数	79	9	8	8	9	8	5	9	5	4	5	1	8
		隊数	363	40	48	35	35	36	16	48	12	22	26	1	44
		人員	1,201	140	167	115	123	119	49	138	37	75	84	5	149
救助出動 ※1	件数	84	4	8	6	10	8	8	8	7	8	3	9	7	6
	隊数	263	15	25	19	29	25	25	21	26	13	28	19	18	18
	人員	885	48	84	67	109	82	86	64	88	37	99	62	59	59
自然災害出動	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	隊数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	人員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
警戒出動・ その他災害 出動※2	件数	1,355	128	133	127	104	98	102	112	107	95	92	104	153	153
	隊数	1,514	152	145	137	115	107	110	126	121	111	104	113	173	173
	人員	4,286	439	398	401	344	317	305	352	334	319	304	307	466	466
誤 報	件数	115	14	5	10	1	6	8	24	15	8	9	6	9	9
	隊数	147	16	6	13	2	6	11	36	21	8	12	6	10	10
	人員	483	58	20	44	6	19	37	118	65	23	42	23	28	28
合 計	件数	1,634	155	154	151	124	120	123	152	136	110	115	118	176	176
	隊数	2,288	223	224	204	181	174	162	231	181	154	170	139	245	245
	人員	6,858	685	669	627	582	537	477	672	527	454	529	397	702	702

演習・訓練	隊数	72	2	0	0	4	3	9	4	9	2	18	17	4	4
	人員	212	7	0	0	14	8	24	9	21	7	50	59	13	13
広報・指導	隊数	962	82	63	105	60	49	44	81	108	69	87	133	81	81
	人員	2,449	180	157	275	136	125	101	208	268	163	242	378	216	216
警防調査	隊数	182	10	16	12	36	29	32	7	13	6	9	9	3	3
	人員	506	24	41	36	102	80	89	20	42	15	27	23	7	7
特別警戒	隊数	5	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1
	人員	13	3	3	0	0	0	0	3	0	0	3	0	1	1
予防査察	隊数	518	27	4	20	9	33	93	62	44	67	68	51	40	40
	人員	1,474	73	9	51	21	87	268	174	124	202	197	150	118	118
その他	隊数	1,412	130	127	82	104	99	82	111	151	104	124	142	156	156
	人員	3,628	321	304	216	232	259	237	306	396	285	357	333	382	382
合 計	隊数	3,151	252	211	219	213	213	260	266	325	248	307	352	285	285
	人員	8,282	608	514	578	505	559	719	720	851	672	876	943	737	737

※1 火災、特殊災害、管外応援及び誤報を除く。

※2 その他災害出動とは、特殊災害出動、救急支援出動、ドクターヘリ支援出動、危険排除出動等をいう。

高速自動車国道等出動状況

1 救急出動

(令和4年中)

種別 路線		救急									救急 合計
		火災	自然災害	交通事故	労働災害	一般負傷	加害	自損行為	急病	左記以外 の救急	
関越	出動件数										
	搬送人員										
上信越	出動件数										
	搬送人員										
北関東	出動件数			1					2		3
	搬送人員			1					2		3
合計	出動件数			1					2		3
	搬送人員			1					2		3

2 火災出動・救助出動・支援出動

(令和4年中)

種別 路線		火災			火災 合計	救助				救助 合計	支援等
		建物火災	車両火災	左記以外 の火災		火災	交通事故	風水害等 自然災害	左記以外 の救助		
関越	出動件数										
	出動台数										
上信越	出動件数										
	出動台数										
北関東	出動件数										1
	出動台数										3
合計	出動件数										1
	出動台数										3

火薬類（煙火）消費許可

（令和4年度）

実施日	実施名	火薬類の種類及び数量											
		火薬	2号玉	2.5号玉	3号玉	4号玉	5号玉	6号玉	7号玉	8号玉	10号玉	マスターイン	小型
6月12日（日）	オートレース優勝戦後花火打上（強風のため当日中止）	5.7 kg	67 個	10 個	15 個								
7月16日（土）	たまむら花火大会 打上	131.69 kg			40 個	100 個	80 個		30 個	10 個	20 個	7 台	
8月15日（月）	オートレース優勝戦後花火打上	7.0 kg	96 個	80 個	40 個								
8月20日（土）	いせさき花火大会	190.57 kg			15 個							7 台	
9月11日（日）	オートレース優勝戦後花火打上	7.0 kg	96 個	80 個	40 個								
9月24日（土）	地域振興による花火打上	7.6 kg			70 個							4 台	2 台
10月11日（火）	群馬県立障害者リハビリテーションセンター 秋まつり	10.5 kg		40 個								3 台	10 台
3月24日（金）	境南中思い出づくり実行委員会「サプライズ花火打上のため」	9.05 kg		30 個	35 個							5 台	

水 防 関 係



※令和4年度水防訓練風景

令和4年度伊勢崎市水防訓練

実施訓練	実施日	訓練会場
伊勢崎市消防団 水防活動マニュアル等説明会	6月21日・6月23日	消防本部4階会議室・本部敷地内

水防倉庫資器材備蓄一覽表

資器材別	水防倉庫別	伊勢崎消防署水防倉庫	太田水防倉庫	華藏寺水防倉庫	南分署水防倉庫	西分署水防倉庫	赤堀消防署水防倉庫	東消防署水防倉庫	境消防署水防倉庫	境（旧保泉）水防倉庫	境防災センター水防倉庫	境島村公民館水防倉庫	境平塚水防倉庫	境三ツ木水防倉庫	伊勢崎下流域水防倉庫	道路維持課分室水防倉庫	合計
					※	※			※	※	※	※	※			※	
完成土のう	個	385	260	350	340	576	472	333	450			300	26	600	840		4,932
土のう袋	枚	8,524	3,800	3,400	1,800	2,087	1,880	1,792	2,100	1,400	1,300	3,200	1,800	2,015	1,389		36,487
木杭	本	48	20	200			39		3			21		80	5		416
丸太	本	71	20				7	30			24						152
鉄杭	本	79	21					9	360	60				70	9		608
鉄杭(黄・黒柄)	本	402	191	478	200	85	88	79	198	55	50	87	43	53	40		2,049
パイプ杭(Φ40mm)	本	123	35				30										188
縄	巻	10	5	6			5					4				3	33
ロープ(黄・黒柄)	巻	3	2	3	3	2	7	2	4				2				28
ビニールロープ	巻	8	2	13	5	3	5	2	3		2	2	2	2	2		51
鉄線	kg	80	30	75	50	8	40	25	10		50	30	20	20	30		468
ビニールシート	枚	23	5	5	4	5	11	5	5	3	5	5	5	5	5	2	93
釘	kg	4	4	4													12
軽量鋼板	枚	70					30							48			148
シート張り	枚																0
塩ビパイプ	本	5	1	1			1	1	2	1	4	2	1	1	1		21
竹とげ	丁	3		1		1	1	1	1					20			28
剣先スコップ	丁	64	30	40	41	20	23	16	31	11	23	34	21	25	27	5	411
角スコップ	丁	28			7	5	6	11	11				5			17	90
掛矢	丁	23	20	27	10	4	6	7	8	4	4	5	5	3	4	2	132
なた	丁	4	5	6	4	2	5	5	3	4	4	7	6	4	4	3	66
かま	丁	18	10	19	9	2	11	10	6	7	5	8	9	5	5	9	133
のこぎり	丁	14	25	20	5	3	7	6	8	8	10	11	9	7	4	5	142
斧(大=杭ごしらえ可)	丁	5					6	1	1	1	2			1	2		19
斧(小)	丁	2	2	5	5	2	2	2	2	1	3	3	2	1			32
唐ぐわ	丁	5	4	4	3		4	3	1	3	2	2	3	2	2		38
つるはし	丁	11	11	25	7	4	5	5	2	2	2	4	4	2	2	2	88
ペンチ	丁	8	2		2	2	2	3		2	2	4	2	2		3	34
ハンマー(両手)	丁	12	2	1	5	10	5	6	5	2	3	3	2	2	1	2	61
ハンマー(片手大)	丁	16	6					1	3								26
ハンマー(片手小)	丁	13		13	10	6		7	12	1	6	11	13	8	5	2	107
鉄線カッター	丁	5	3	2	2	2	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	28
パール	丁	3	2	2	3	2	2	1	4	2	2	4	2	2	3	5	39
しの	丁	3			2	4	7	2					1				19
もっこ	台					10			2								12
たこづち	丁	11			2	2	2	2	2								21
一輪車	台	3			1	1	2	2	2							2	13
水防マット	枚	4						5									9
チェンソー	機	1			1	1	1	1	1							3	9
排水ポンプ	基							1	1							3	5

※ アルミ製コンテナ

応 援 協 定

群馬県消防相互応援協定

大規模かつ広域的な災害、その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して当該災害による被害を最小限度に防止する目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。（群馬県全域）

平成19年9月4日

協定団体

前 橋 市 消 防 局
高 崎 市 等 広 域 消 防 局
桐 生 市 消 防 本 部
太 田 市 消 防 本 部
館 林 地 区 消 防 本 部

利 根 沼 田 広 域 消 防 本 部
渋 川 広 域 消 防 本 部
多 野 藤 岡 広 域 消 防 本 部
富 岡 甘 楽 広 域 消 防 本 部
吾 妻 広 域 消 防 本 部

特殊災害消防対策相互応援協定

隣接消防機関の相互の緊密なる協力のもとに特殊災害に対処する目的で、群馬、栃木隣接の関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

桐 生 市 消 防 本 部
太 田 市 消 防 本 部
館 林 地 区 消 防 本 部

佐 野 市 消 防 本 部
足 利 市 消 防 本 部

関越自動車道、上信越自動車道及び北関東自動車道における消防相互応援協定

関越自動車道の本庄・関越トンネル間、上信越自動車道の藤岡・佐久間及び北関東自動車道の高崎・足利間における、火災又は救急事故等が発生した際に消防業務の円滑化を図る目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成23年3月9日

協定団体

前 橋 市 消 防 局
高 崎 市 等 広 域 消 防 局
多 野 藤 岡 広 域 消 防 本 部
児 玉 郡 市 広 域 消 防 本 部
渋 川 広 域 消 防 本 部

利 根 沼 田 広 域 消 防 本 部
富 岡 甘 楽 広 域 消 防 本 部
佐 久 広 域 連 合 消 防 本 部
太 田 市 消 防 本 部
足 利 市 消 防 本 部

消防相互応援協定

火災、地震その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して、当該災害による被害を最小限に防止する目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県消防機関と相互応援協定を締結している。

平成20年4月1日

協定団体

児 玉 郡 市 広 域 消 防 本 部
深 谷 市 消 防 本 部

群馬県防災航空隊支援協定

地震・台風・水火災及び事故等の災害の場合において、群馬県防災航空隊（防災ヘリコプター）の支援を受けることによって被害を最小限に防止する目的で、群馬県と支援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

群 馬 県

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、群馬県、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成20年10月1日

協定団体

群馬県
東日本旅客鉄道株式会社高崎
上信電鉄株式会社
前橋市消防局
高崎市等広域消防局
桐生市消防本部

利根沼田広域消防本部
渋川広域消防本部
多野藤岡広域消防本部
富岡甘楽広域消防本部
吾妻広域消防本部

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成21年7月1日

協定団体

東武鉄道株式会社
太田市消防本部

桐生市消防本部
館林地区消防本部

火災または地震等の災害時における消火用水供給応援に関する協定

火災又は地震等の消火活動に関し、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小限度に防止する目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結している。

平成10年1月17日

協定団体

上州生コン株式会社
田中生コン株式会社

大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定

地震等の大規模な災害の発生により市内のサービスステーションが混雑し、緊急車輛の運行に必要な石油類燃料の調達が困難となった場合において、優先的かつ安定的な石油類燃料の供給を受ける目的で、サービスステーションを所有する企業と応援協定を締結している。

平成25年2月1日

協定団体

藤本商事株式会社

消防活動の協力に関する協定

火災等の災害時の消防活動に関し、重機等を保有する建設事業者に対して協力要請を迅速に行う目的で協定を締結している。

平成30年5月24日

協定団体

株式会社サンケン

平成30年6月28日

協定団体

第一工業株式会社

群馬ボートライセンススクールとの連携・協力に関する協定

大規模災害発生時の協力体制及び職員の教育・人材育成の推進のため、相互協力が可能な事項について連携・協力し、消防力強化を効果的に生み出していく目的で協定を締結している。

令和4年4月12日

協定団体

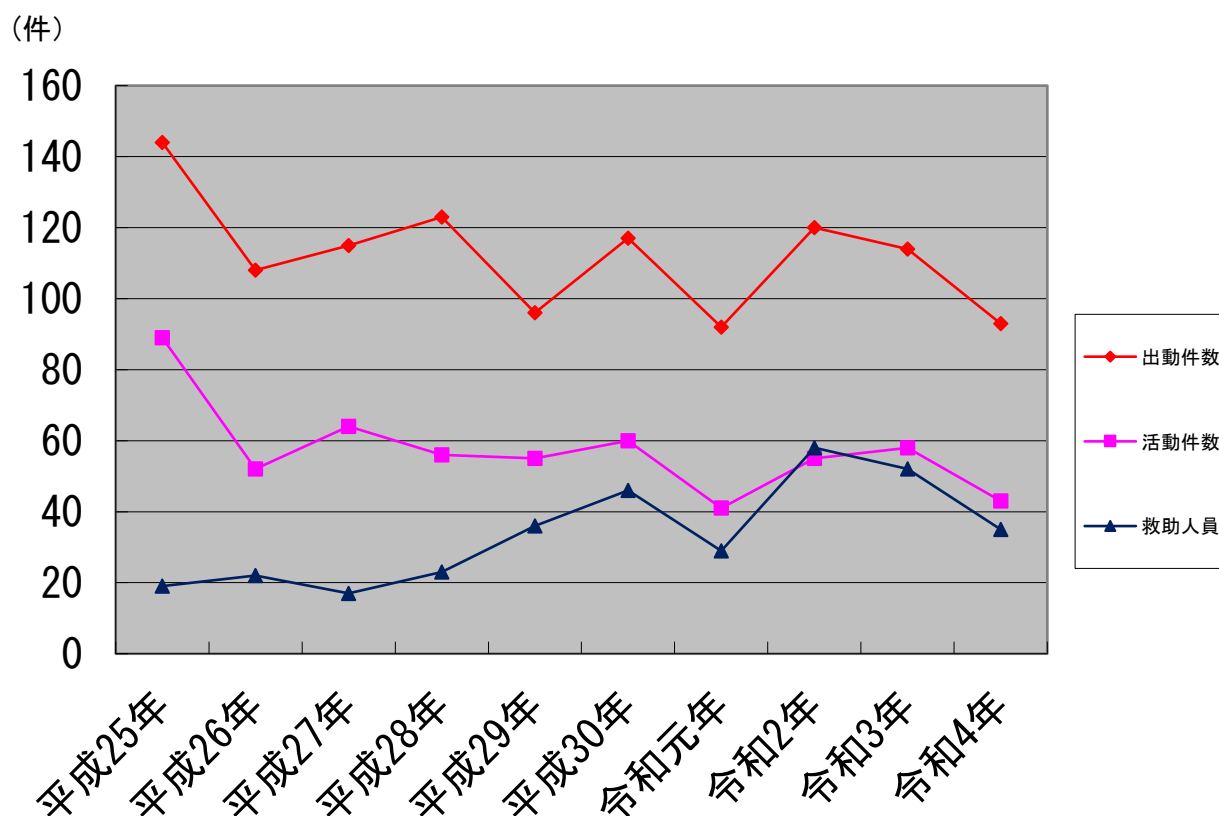
有限会社籠島装業 群馬ボートライセンススクール

救 助 活 動 概 要

令和4年中の救助出動件数は93件、活動件数は43件で前年と比較すると出動件数は21件減り、活動件数15件減となっています。

また、消防隊等により救助された人（救助人員）は、35人で前年と比較すると17人減少しています。

救助活動の推移（過去10年間）



年	区分	出動件数	活動件数	救助人員
平成25年		144	89	19
平成26年		108	52	22
平成27年		115	64	17
平成28年		123	56	23
平成29年		96	55	36
平成30年		117	60	46
令和元年		92	41	29
令和2年		120	55	58
令和3年		114	58	52
令和4年		93	43	35

事故種別救助活動状況

(令和4年中)

区分 事故種別		救助出動件数		救助活動件数	
火災	建物	4	4	4	4
	建物以外	0		0	
交 通 事 故		45	89	15	38
水 難 事 故		4		3	
自 然 災 害		0		0	
機械による事故		6		1	
建物等による事故		11		8	
ガス事故及び酸欠事故		4		3	
破 裂 事 故		0		0	
そ の 他		19		8	
合 計		93		42	

事故種別発生場所別出動件数

(令和4年中)

事故種別		火災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外									
屋内	住居	1						9	2		1	13
	その他の屋内	3					2	2	1		3	11
屋外	道路											0
	その他の道路			43							1	44
	水面				4						1	5
	外水面											0
	山岳											0
	その他の屋外			1			4				7	12
地下												0
その他				1					1		6	8
合計		4	0	45	4	0	6	11	4	0	19	93

指 揮 調 査



警察機関と合同で実況見分を行っている状況

〈火災の概況〉

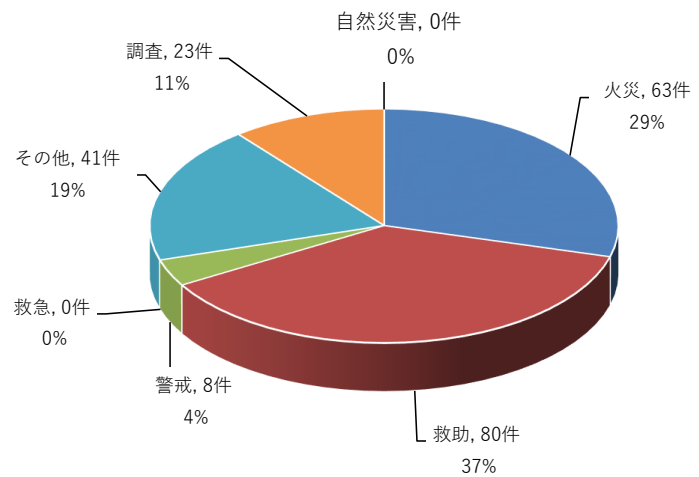
令和4年中の管内における火災件数は79件で前年に比べ5件減少しています。
構成市町別では伊勢崎市が70件、玉村町が9件となっております。
損害額については10,413万円であり、前年より4,400万円の減少となりました。

指 揮 活 動



指揮活動の状況

指揮隊出動件数 ・ 災害種別内訳



指揮隊出動内訳

(令和4年中)

	火 災	救 助	警 戒	救 急	そ の 他	調 査	自然災害	月 計
1 月	8	4	2	0	3	0	0	17
2 月	6	9	0	0	2	2	0	19
3 月	8	6	1	0	3	1	0	19
4 月	6	8	1	0	2	2	0	19
5 月	4	8	1	0	3	1	0	17
6 月	5	8	0	0	4	2	0	19
7 月	8	6	0	0	4	3	0	21
8 月	3	8	0	0	6	3	0	20
9 月	4	3	1	0	3	1	0	12
1 0 月	4	9	2	0	4	2	0	21
1 1 月	0	6	0	0	2	3	0	11
1 2 月	7	5	0	0	5	3	0	20
合計 (件)	63	80	8	0	41	23	0	215

火 災 の 状 況

(令和3年・令和4年比較)

	令和4年(A)	令和3年(B)	増減(A)－(B) (C)	増減率(C)/(B) ×100 (%)
出火件数 (件)	79	84	△ 5	△ 6
建物	39	44	△ 5	△ 11
車両	14	13	1	8
その他	26	27	△ 1	△ 4
焼損棟数 (棟)	59	58	1	2
全 焼	18	10	8	80
半 焼	2	5	△ 3	△ 60
部分焼	18	16	2	13
ぼ や	21	27	△ 6	△ 22
り災世帯 (世帯)	21	32	△ 11	△ 34
全 損	2	8	△ 6	△ 75
半 損	0	4	△ 4	△ 100
小 損	19	20	△ 1	△ 5
り災人員 (人)	52	58	△ 6	△ 10
死 傷 者 (人)	12	13	△ 1	△ 8
死 者	4	4	0	—
負 傷 者	8	9	△ 1	△ 11
30日死者	0	0	0	—
焼 損				
床 面 積 (㎡)	1,701	1,602	99	6
表 面 積 (㎡)	699	120	579	483
損害額 (千円)	104,131	148,135	△ 44,004	△ 30
建 物	77,789	114,807	△ 37,018	△ 32
収 容 物	21,693	19,754	1,939	10
車 両	3,952	4,682	△ 730	△ 16
そ の 他	697	8,892	△ 8,195	△ 92
出 火 率 (件)	3.2	3.4	△ 0.2	△ 6

- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
- 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
- 3 焼損面積は、建物のみ。
- 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。
- 5 △は減少を示す。

市町別出火状況

(令和4年中)

	伊勢崎市	玉村町	合 計
出火件数（件）	70	9	79
建物	34	5	39
車両	11	3	14
その他	25	1	26
焼損棟数（棟）	54	5	59
全焼	18	0	18
半焼	2	0	2
部分焼	18	0	18
ぼや	16	5	21
り災世帯（世帯）	20	1	21
全損	2	0	2
半損	0	0	0
小損	18	1	19
り災人員（人）	51	1	52
死傷者（人）	10	2	12
死者	4	0	4
負傷者	6	2	8
30日死者	0	0	0
焼損			
床面積（㎡）	1,701	0	1,701
表面積（㎡）	699	0	699
損害額（千円）	103,275	856	104,131
建物	77,781	8	77,789
収容物	21,275	418	21,693
車両	3,522	430	3,952
その他	697	0	697
出火率（件）	3.3	2.5	3.2

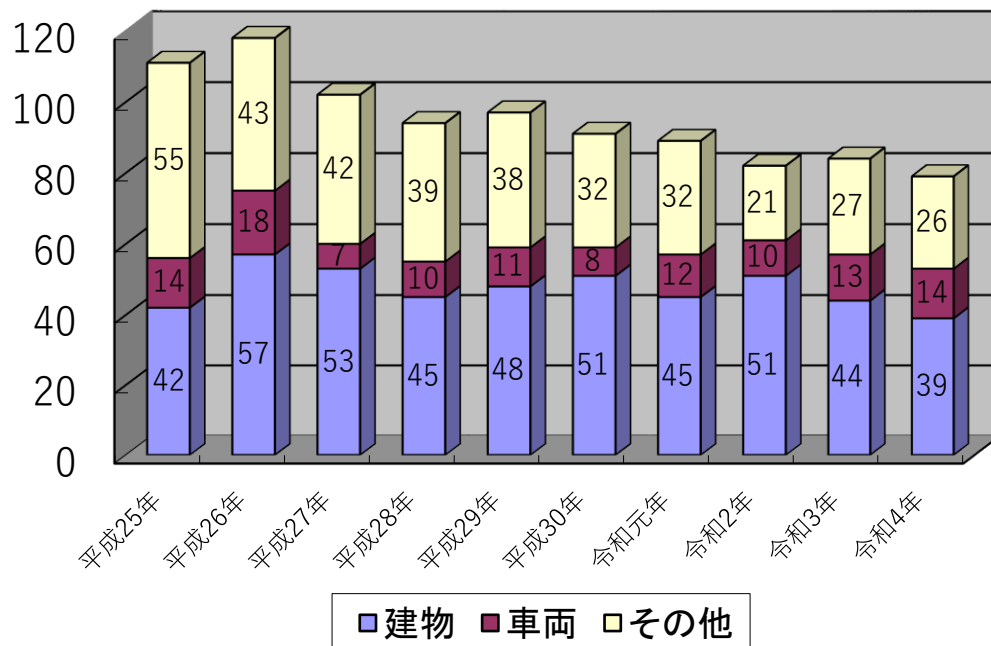
- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
- 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
- 3 焼損面積は、建物のみ。
- 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

火災状況の推移

(過去10年間)

	件数	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	出火率
平成25年	111	床 1,457 表 651	75,362	2	23 30日死者 0	4.5
平成26年	118	床 1,530 表 663	102,893	5	19 30日死者 0	4.8
平成27年	102	床 4,049 表 855	170,081	5	11 30日死者 0	4.1
平成28年	94	床 3,086 表 759	224,768	6	15 30日死者 1	3.8
平成29年	97	床 2,478 表 600	236,449	3	11 30日死者 0	3.9
平成30年	91	床 3,491 表 304	394,191	6	7 30日死者 0	3.6
令和元年	89	床 3,013 表 300	149,737	6	15 30日死者 1	3.6
令和2年	82	床 1,934 表 801	189,276	0	9 30日死者 0	3.3
令和3年	84	床 1,602 表 120	148,135	4	9 30日死者 0	3.4
令和4年	79	床 1,701 表 699	104,131	4	8 30日死者 0	3.2

火災件数の推移



火 災 件 数

建物火災

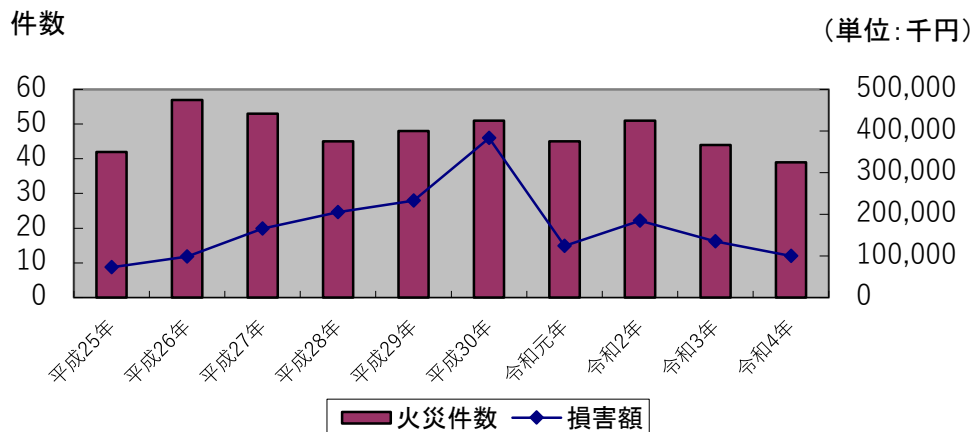
建物火災は39件で前年に比べ5件減少している。損害額は10,003万円で前年と比べ3,476万円減少している。

建物火災の推移

(単位：千円)

	火災件数	※損害額
平成 25 年	42	72,629
平成 26 年	57	98,207
平成 27 年	53	165,792
平成 28 年	45	205,352
平成 29 年	48	232,531
平成 30 年	51	383,132
令和 元年	45	125,737
令和 2 年	51	184,515
令和 3 年	44	134,797
令和 4 年	39	100,030

※建物火災に関連した損害を含む。



車両火災

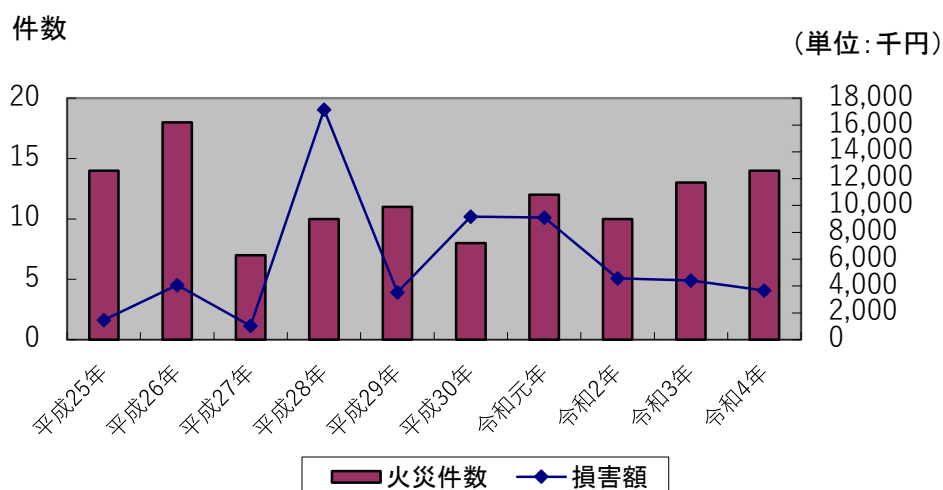
車両火災は14件で前年に比べ1件増加している。損害額は366万円で前年と比べ76万円減少している。

車両火災の推移

(単位：千円)

	火災件数	※損害額
平成 25 年	14	1,476
平成 26 年	18	4,066
平成 27 年	7	1,028
平成 28 年	10	17,142
平成 29 年	11	3,526
平成 30 年	8	9,179
令和 元年	12	9,114
令和 2 年	10	4,579
令和 3 年	13	4,423
令和 4 年	14	3,663

※車両火災に関連した損害を含む。



その他の火災

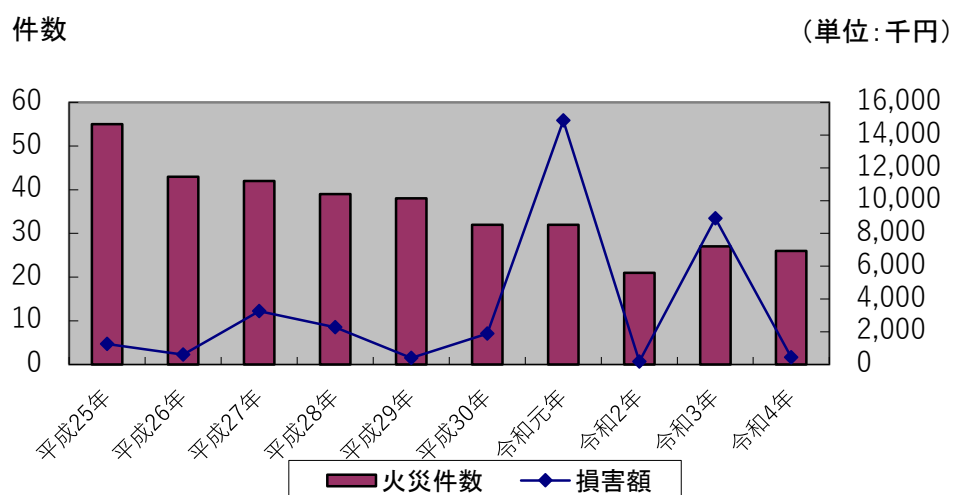
その他の火災は26件で前年と比べ1件減少している。損害額は43万円で前年と比べ848万円減少している。

その他の火災の推移

(単位: 千円)

	火災件数	※損害額
平成 25 年	55	1,257
平成 26 年	43	607
平成 27 年	42	3,261
平成 28 年	39	2,274
平成 29 年	38	392
平成 30 年	32	1,880
令和 元年	32	14,886
令和 2 年	21	182
令和 3 年	27	8,915
令和 4 年	26	438

※その他の火災に関連した損害を含む。



出 火 原 因

令和4年中における全火災79件中を原因別に見ると、出火原因の第1位は「放火・放火の疑い（16件・全体の20%）」、第2位は「電気に起因するもの（10件・全体の13%）」、第3位は「たき火（7件・全体の9%）」となっている。

※電気に起因するものとは、出火原因が「電気機器」「電気装置」「電灯・電話等の配線」「配線器具」の火災のことをいう。

1 放火・放火の疑いによる損害状況

放火による火災は8件、放火の疑いによる火災を含めると16件で、前年に比べ10件増加しており、全火災の20%を占めている。

放火・放火の疑いによる火災の損害額は533万円で前年に比べ232万円増加している。

	単位	放火			放火の疑い			放火と放火の疑いの合計		
		令和4年	令和3年	増減値	令和4年	令和3年	増減値	令和4年	令和3年	増減値
出 火 件 数	件	8	3	5	8	3	5	16	6	10
建物火災		3	2	1	2	1	1	5	3	2
車両火災		1	1	0	0	0	0	1	1	0
その他の火災		4	0	4	6	2	4	10	2	8
建物焼損床面積	㎡	23	69	△ 46	0	64	△ 64	23	133	△ 110
建物焼損表面積		156	1	155	0	1	△ 1	156	2	154
損 害 額	千円	5,326	1,409	3,917	5	1,596	△ 1,591	5,331	3,005	2,326

2 電気に起因するものの損害状況

電気に起因するものによる火災は10件で前年に比べ5件減少している。電気に起因するものによる主な経過別出火件数を見ると、「スパークする」が5件で全体の50%を占めている。

電気に起因するものによる火災の損害額は5,706万円で前年に比べ3,993万円増加している。

	単位	電気に起因するものの損害状況		
		令和4年	令和3年	増減値
出 火 件 数	件	10	15	△ 5
建物火災		7	11	△ 4
車両火災		0	1	△ 1
その他の火災		3	3	0
建物焼損床面積	㎡	859	44	815
建物焼損表面積		44	0	44
損 害 額	千円	57,069	17,139	39,930

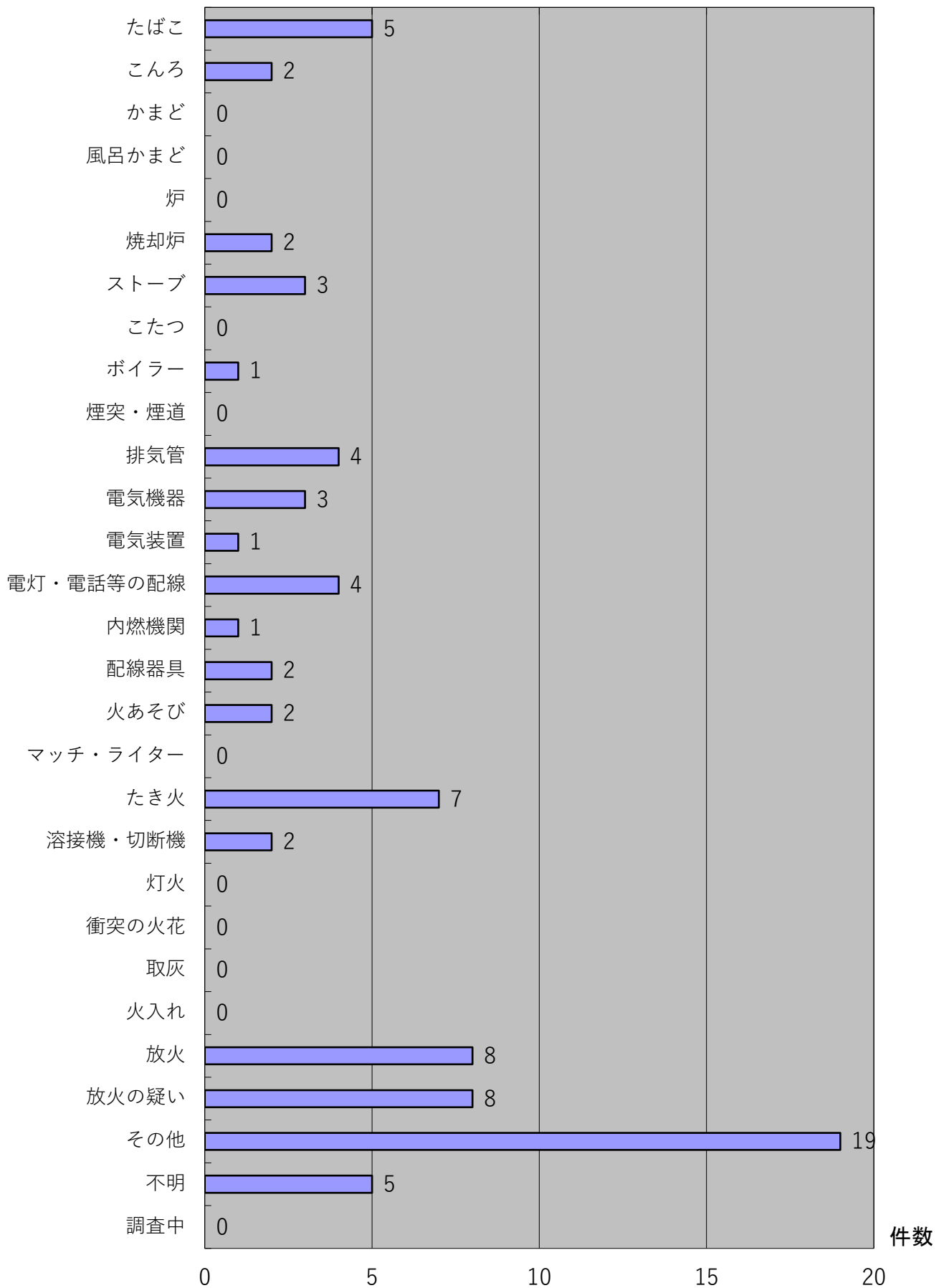
3 たき火による火災の損害状況

たき火による火災は7件で前年に比べ2件減少している。たき火による主な経過別出火件数を見ると、「火源が動いて接触する」が6件で全体の86%を占めている。

たき火による火災の損害額は38万円で前年に比べ395万円減少している。

	単位	たき火		
		令和4年	令和3年	増減値
出 火 件 数	件	7	9	△ 2
建物火災		1	1	0
車両火災		0	0	0
その他の火災		6	8	△ 2
建物焼損床面積	㎡	21	17	4
建物焼損表面積		4	7	△ 3
損 害 額	千円	387	4,343	△ 3,956

出 火 原 因



火 災 に よ る 死 傷 者

令和4年中の火災による死者は4人で、負傷者は8人である。

火災種別ごとの死傷者発生状況

	建物火災	車両火災	その他の火災
死 者(人)	1	1	2
割 合(%)	25	25	50
負傷者(人)	8		
割 合(%)	100		

全火災の区分別死傷者数

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
死 者(人)			1		3	4

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
負傷者(人)	1		7			8
重 症			1			1
中等症			2			2
軽 症	1		4			5

全火災の死傷者の性別・年齢区分

	死 者 (人)			負 傷 者 (人)		
	男	女	計	男	女	計
5歳以下(人)						
6 ～ 10 歳						
11 ～ 15 歳						
16 ～ 20 歳						
21 ～ 25 歳				2		2
26 ～ 30 歳						
31 ～ 35 歳						
36 ～ 40 歳				1		1
41 ～ 45 歳				2		2
46 ～ 50 歳						
51 ～ 55 歳	1		1			
56 ～ 60 歳						
61 ～ 65 歳				1		1
66 ～ 70 歳	1		1	1	1	2
71 ～ 75 歳		1	1			
76 ～ 80 歳						
81歳以上	1		1			
合 計	3	1	4	7	1	8

署・分署別火災発生状況

	伊勢崎 消防署	北分署	南分署	西分署	赤 堀 消防署	東 消防署	境 消防署	玉 村 消防署	計
火災件数（件）	17	7	17	7	1	8	13	9	79
建 物	8	5	8	1	1	6	5	5	39
車 両	3	1	3	1	0	2	1	3	14
そ の 他	6	1	6	5	0	0	7	1	26
焼損棟数（棟）	9	19	8	1	3	8	6	5	59
全 焼	1	11	1	0	1	3	1	0	18
半 焼	1	0	0	0	0	1	0	0	2
部 分 焼	3	5	2	0	1	3	4	0	18
ぼ や	4	3	5	1	1	1	1	5	21
り災世帯（世帯）	2	9	3	0	1	1	4	1	21
り 災 員（人）	5	26	6	0	4	1	9	1	52
焼損床面積（㎡）	127	555	6	0	33	943	37	0	1,701
焼損表面積（㎡）	210	371	17	0	38	42	21	0	699
死 者（人）	0	0	1	1	0	0	2	0	4
負 傷 者（人）	1	2	0	0	1	2	0	2	8
損害額（千円）	15,762	27,159	1,609	831	1,134	55,643	1,137	856	104,131

装 備 ・ 施 設

【令和 4 年度 整備車両】

水槽付消防ポンプ自動車

玉村消防署配備 玉村 2 号車



消防車両等現有配置状況

(令和5年4月1日現在)

所 属 \ 車種別	水槽付消防ポンプ自動車	普通消防ポンプ自動車	梯子自動車	化学消防車	救急車	救助工作車Ⅱ型	救助工作車Ⅲ型	指揮車	小型動力ポンプ付水槽車	資機材運搬車	指令車	火災調査車	広報連絡車	乗用車	マイクローバス	被牽引車（トレーラー）	合 計
消 防 本 部					2			1		2	4	1	4	1	1		16
伊 勢 崎 消 防 署	1		1	1	2	1	1		1	1	1						10
伊 勢 崎 消 防 署 北 分 署	1				1								1				3
伊 勢 崎 消 防 署 南 分 署	1				1					1			1			1	5
伊 勢 崎 消 防 署 西 分 署	1				1								1				3
赤 堀 消 防 署	1	1			1						1						4
東 消 防 署	1	1			1						1						4
境 消 防 署	1		1		1				1	1	1						6
玉 村 消 防 署	2				1						1						4
合 計	9	2	2	1	11	1	1	1	2	5	9	1	7	1	1	1	55

消 防 車 両 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

所 属	車 両 名	メ ー カ ー 車 種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免許区分	備 考
消 防 本 部	本 部 1 (指 令 車)	三 菱 パ ジ エ ロ	800 す 9965	H20. 2. 8		2,495	普通	四輪駆動
	本 部 2 (広 報 連 絡 車)	ト ヨ タ ノ ア	503 す 4678	H29. 2.10		2,010	普通	
	本 部 3 (指 令 車)	ニ ッ サ ン キ ャ ラ バ ン	800 セ 9610	R 2. 3.10		3,115	普通	
	本 部 4 (指 令 車)	ホ ン ダ ステップワゴン	800 セ 3284	H23. 8.23		2,150	普通	
	本 部 5 (指 令 車)	ニ ッ サ ン A D バ ン	800 セ 4532	H25. 2.22		1,745	普通	
	本 部 6 (マイクロバス)	ニ ッ サ ン シ ビ リ ア ン	200 さ 1014	H16. 8.20		5,365	中型	乗車定員 29 人
	本 部 支 援 1 (資 機 材 運 搬 車)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 1922	H28. 3. 4		10,905	中型	支援車Ⅱ型 四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	本 部 機 材 1 (資 機 材 運 搬 車)	三 菱 キ ャ ン タ ー	800 そ 1148	R 4. 3.15		4,255	準中型	四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	救 急 伊 勢 崎 3 (高規格救急自動車)	ト ヨ タ ハイメディック	800 セ 3417	H23.10.23		3,255	普通	非常用救急自動車
	救 急 伊 勢 崎 4 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 セ 3645	H24. 2.14		3,245	普通	非常用救急自動車
	本 部 指 揮 1 (指 揮 車)	ト ヨ タ ハイエース	800 セ 4535	H25. 2.22		3,020	普通	
	本 部 調 査 1 (火 災 調 査 車)	ト ヨ タ ハイメディック	800 す 1246	H15. 3.27		2,555	普通	
	乗 用 車	ト ヨ タ マ ー ク II	300 ま 3569	H16. 3.12		1,745	普通	
	危険物安全協会車 (広 報 連 絡 車)	ト ヨ タ プロボックス	502 ん 3916	H22.11.30		1,315	普通	寄贈車両
	危険物安全協会車 2 (広 報 連 絡 車)	ス ズ キ エ ブ リ イ	480 て 8595	H30. 5.28		1,330	普通	寄贈車両
	軽 ト ラ ッ ク (広 報 連 絡 車)	ダ イ ハ ツ ハ イ ゼ ッ ト	41 む 6600	H17. 1.21		1,210	普通	

【令和4年度 整備車両】

※救急課により整備



玉村消防署配備
玉村2号車（水槽付消防ポンプ自動車）



伊勢崎消防署西分署配備
救急西1号車（高規格救急自動車）

所属	車 両 名	メ ー カ ー 車 種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免許区分	備 考
伊勢崎消防署	伊勢崎指令1 (指令車)	トヨタ ノア	800 す 7250	H18. 3.15		1,970	普通	
	伊勢崎1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 1272	H21. 1.28	A-2級 モリタ	11,180	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置
	伊勢崎水槽1 (小型動力ポンプ付水槽車)	三菱 スーパージェット	800 は 664	H16. 3.12	B-2級 シバウラ	21,985	大型	積載水量10,000ℓ
	伊勢崎化学1 (化学Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 2055	H30. 1.29	A-2級 モリタ	11,420	大型	四輪駆動 積載水量1,500ℓ 積載薬剤 500ℓ 緊急消防援助隊登録
	伊勢崎救助1 (救助Ⅲ型)	日野 レンジャー	800 は 1574	H24. 2.20		11,865	大型	四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	伊勢崎救助2 (救助Ⅱ型)	日野 レンジャー	88 ら 1490	H 7. 2.16		9,700	中型	非常用救助工作車
	伊勢崎梯子1 (38m級)	日野	88 ら 2190	H11. 3.10		20,390	大型	全伸梯 41m
	伊勢崎機材1 (資機材運搬車)	三菱 キャンター	800 す 1206	H15. 3.27		5,525	準中型	クレーン付
	救急伊勢崎1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 セ 5277	H26. 1. 7		3,275	普通	
	救急伊勢崎2 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 セ 7555	H29. 2.16		3,285	普通	
北分署	伊勢崎北指令1 (広報連絡車)	ニッサン クリッパー	880 あ 2159	R 2. 3.10		1,350	普通	
	伊勢崎北1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 2289	R 3. 2. 9	A-2級 モリタ	11,960	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置 救助資機材 緊急消防援助隊登録
	救急伊勢崎北1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 セ 8914	H31. 2.20		3,245	普通	
南分署	伊勢崎南指令1 (広報連絡車)	スズキ ハスラー	880 あ 2161	R 2. 3. 9		1,060	普通	四輪駆動
	伊勢崎南1 (水槽付Ⅱ型)	日野 プロフィア	800 は 1375	H22. 3.12	A-2級 モリタ	14,940	大型	積載水量3,500ℓ CAFS装置
	伊勢崎南機材1 (資機材運搬車)	トヨタ ダイナ	88 に 5728	H 4. 5.26		4,450	準中型	四輪駆動
	救急伊勢崎南1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 そ 267	R 3. 1.21		3,255	普通	緊急消防援助隊登録
	水上バイク 被牽引車	スペシャル トレーラーズ	80 を 1267	H14.11. 8		490	普通	水難救助用
西分署	伊勢崎西指令1 (広報連絡車)	ニッサン クリッパー	880 あ 2158	R 2. 3.10		1,360	普通	
	伊勢崎西1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 1074	H19. 3.15	A-2級 モリタ	11,520	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ 救助資機材 緊急消防援助隊登録
	救急伊勢崎西1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 そ 1663	R 5. 1.12		3,235	普通	

所属	車 両 名	メ ー カ ー 車 種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免許区分	備 考
赤 堀 消 防 署	赤 堀 指 令 1 (指 令 車)	ホ ン ダ ステップワゴン	800せ 3285	H23. 8.23		2,150	普通	
	赤 堀 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 プロフィア	831 た 119	H18. 3.15	A-2級 モリタ	14,645	大型	積載水量3,500ℓ 救助資機材
	赤 堀 2 (CD-I 水槽付)	い す ゞ エルフ	88 め 7217	H 9.11.25	A-2級 モリタ	5,510	準中型	積載水量900ℓ
	救 急 赤 堀 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 6800	H28. 1. 5		3,285	普通	緊急消防援助隊登録
東 消 防 署	東 指 令 1 (指 令 車)	ニ ッ サ ン セ レ ナ	800 す 1073	H15. 3.10		2,060	普通	
	東 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 2382	R 3.12.15	A-2級 モリタ	10,950	中型	積載水量2,000ℓ
	東 2 (CD-I 水槽付)	い す ゞ エルフ	88 め 5247	H 9. 3.14	A-2級 モリタ	5,510	準中型	積載水量900ℓ
	救 急 東 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 9599	R 2. 2.27		3,205	普通	緊急消防援助隊登録
境 消 防 署	境 指 令 1 (指 令 車)	ニ ッ サ ン セ レ ナ	800 さ 7811	H13.10.25		2,100	普通	
	境 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 1073	H19. 3.15	A-2級 モリタ	11,500	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置 緊急消防援助隊登録
	境 2 (小型動力ポンプ付水槽車)	日 野 レンジャー	800 は 1467	H23. 3.10	B-2級 トーハツ	12,995	大型	積載水量4,700ℓ
	境 梯 子 1 (1 5 m 級)	日 野 レンジャー	800 は 1185	H20. 2.25	A-2級 モリタ	10,480	中型	積載水量900ℓ 伸縮式固定水管路付
	境 機 材 1 (資機材運搬車)	日 野 デュトロ	800 せ 5410	H26. 3. 7		6,155	準中型	四輪駆動
	救 急 境 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 4541	H25. 2.26		3,265	普通	
玉 村 消 防 署	玉 村 指 令 1 (指 令 車)	ス ズ キ ランディ	800 せ 4533	H25. 2.22		2,200	普通	
	玉 村 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 プロフィア	800 は 1079	H19. 3.20	A-2級 モリタ	14,715	大型	積載水量3,500ℓ 救助資機材
	玉 村 2 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 2499	R 5. 3. 8	A-2級 モリタ	10,770	中型	積載水量2,000ℓ
	救 急 玉 村 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 そ 986	R 4. 2. 3		3,225	普通	

装 備 品 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

品 名		所 属	消 防 本 部	伊 勢 崎 消 防 署	北 分 署	南 分 署	西 分 署	赤 堀 消 防 署	東 消 防 署	境 消 防 署	玉 村 消 防 署	計
測定 資 機 材 等	ピ ト ー ゲ ー ジ		2					1		1	1	5
	コ ン プ レ ッ シ ョ ン ゲ ー ジ		2					1		1	1	5
	騒 音 計		1									1
	可燃性ガス検知器・酸素濃度測定器		1	4	1	1	1	1	1	1	1	12
	有 毒 ガ ス 検 知 器			2								2
	放 射 線 測 定 器		4	5	1		1	1	1	1		14
	非 接 触 式 ・ 放 射 温 度 計		2	1		1	1	1			1	7
消 火 ・ 救 助 活 動 資 機 材 等	消 火 ホ ー ス	4 0 mm		22	15	10	14	10	20	10	18	119
		5 0 mm		58	46	45	40	52	54	47	60	402
		6 5 mm		67	59	30	30	28	39	43	49	345
		6 5 mm (梯子車用)		1								1
	放 水 銃			1	1	1			1			4
	ラ イ ン プ ロ ボ ー シ ョ ナ ー				1	1	1	1	1		1	6
	R P 型 エ ア ー フ ォ ー ム ノ ズ ル		1			1			1			3
	背 負 式 消 火 水 の う (手 動 式)			20	2	2	2	2	4	6	3	41
	送 排 風 機			2								2
	酸 素 呼 吸 器			5								5
	空 気 呼 吸 器	L 3 0 型	20	26	5	5	5	8	8	10	6	93
		K 3 0 型	20									20
	空 気 ボ ン ベ	FRP複合 (5ℓ 30MPa)		12	1	5		3	5	5	4	35
		FRP複合 (7ℓ 30MPa)		46	23	22	22	28	27	21	24	213
		FRP複合 (9ℓ 30MPa)		3								3
		スチール (4～8ℓ)		11	4	2		3		8	8	36
		潜 水 用 (12 ℓ)		6								6
	防 護 服 等	耐 熱 服		3	1	1	1	1		2	1	10
		耐 電 服		4								4
		絶 縁 ゴ ム 手 袋		19	6	4	5	2	5	8	4	53
		防 毒 マ ス ク	17	11	3	3	3	3	3	3	3	49
		防 塵 メ ガ ネ		6		7					8	21
		化 学 防 護 服	35	5								40
		陽 圧 式 化 学 防 護 服		5								5
		放 射 線 防 護 服		7								7
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー			4	1	1	1	1	1	2	2	13
	チ ェ ー ン ソ ー			3	1	1	1	1	1	2	2	12
	鉄 線 カ ッ タ ー		8	5	3	2	2	1	1	4	1	27
	携 帯 発 電 機		4	5	1	3	1	2	3	4	3	26
	投 光 器		4	8	1	2	1	2	2	3	3	26
	携 帯 投 光 器		5	14	1		7	2	3	6	2	40
	三 連 は し ご		1	4	2	2	1	1	2	1	2	16
	か ぎ 付 は し ご			4	2	1	2	2	2	3	2	18
	救 命 索 発 射 銃			2								2
	画 像 探 索 機 (I 型)			1								1
	簡 易 画 像 探 索 機			1								1

品 名			所 属	消 防 本 部	伊 勢 崎 消 防 署	北 分 署	南 分 署	西 分 署	赤 堀 消 防 署	東 消 防 署	境 消 防 署	玉 村 消 防 署	計
救 助 活 動 資 機 材 等	熱 画 像 直 視 装 置			1	3	1				1			6
	油圧式救助器具（電動含む）				3	1	1	1	1	1	1	2	11
	エ ア ー ソ ー				2								2
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ				3	1		1	1			1	7
	携帯用コンクリート破壊器具				2		1	1	1		1	1	7
	万 能 斧				8	3	2	1	1	2	4	2	23
	ハ ン マ ー				4	1	1		1	1	1		9
	救 助 用 滑 車				13	5	3	3	3	3	3	3	36
	空 気 式 救 助 マ ッ ト				1								1
	安 全 マ ッ ト			1	5	2	4	1	3	1	1	2	20
	バ ス ケ ッ ト 担 架				2	1						1	4
	サバイバースリング・救命用縛帯				9	3	3	3	2	2	2	4	28
	可 搬 式 ウ イ ン チ			1	3	1	3	1	2	1		1	13
	張 力 計			1	1				1				3
	緩 降 機				2						1		3
	ゴムボート（船外機を含む）				1						1	2	4
	水 上 バ イ ク						1						1
	潜 水 器 具 一 式				6								6
	救 命 胴 衣			22	38	8	23	8	13	13	22	22	169
	救 命 浮 環			1	5	1	4	1	1	1	8	4	26
浮 標				3								3	
救 急 資 機 材 等	携帯用人工呼吸・酸素蘇生器			2	3	2	2	2	2	2	3	3	21
	携 帯 用 電 動 吸 引 器			2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	ビ デ オ 喉 頭 鏡			2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	血 糖 測 定 器			2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	患 者 監 視 装 置			2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	自動体外式除細動器 （二相波形式）	TEC-2603等		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	A E D	AED-2151等		2	4	3	3	3	3	3	3	3	27
	オ ゾ ン 発 生 器			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	紫 外 線 殺 菌 装 置					1	1		1	1	1	1	6
	殺 菌 線 ロ ッ カ ー				1			1			1	1	4
	高度救命処置訓練人形			3	1								4
	気 管 挿 管 モ デ ル			1		1	1	1	1	1	1	1	8
そ の 他	静 脈 採 血 注 射 モ デ ル				1	1	1	1	1	1	1	1	8
	衛 星 電 話			1			1		1	1			4
	コ ン プ レ ッ サ ー			1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	ガ レ ー ジ ジ ャ ッ キ			3	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	バ ッ テ リ ー 充 電 器				1	1	1	1	1	1	1	1	8
ホース修理機（リング式かしめ機）				1				1	1	1	1	5	
携 帯 拡 声 器			8	6	2	2	1	3	6	3	3	3	34

消 防 水 利 施 設 現 況

種別 管轄別	消火栓 (令和4年4月1日現在)			防火水槽（令和5年4月1日現在）											プ ー ル
	埋設管口径（φ）			公設（m ³ ）					私設（m ³ ）					合計	
	150 未満	150 以上	合 計	20 40 未満	20 〜 40 未満	40 〜 60 未満	60 〜 100 未満	100 以上	20 未満	20 〜 40 未満	40 〜 60 未満	60 〜 100 未満	100 以上		
					20 〜 40 未満	40 〜 60 未満	60 〜 100 未満			100 以上					
伊勢崎市	2,772	1,355	4,127	25	84	558	9	1	41	81	84	3	1	887	37
(伊勢崎消防署)	1,920	901	2,821		10	236	8	1		5	10	1		271	20
(赤堀消防署)	272	106	378	4	13	152			40	69	40	1	1	320	4
(東消防署)	235	153	388	21	59	74	1		1	6	27	1		190	4
(境消防署)	345	195	540		2	96				1	7			106	9
玉村町 (玉村消防署)	333	130	463	13	32	145	4	3			2			199	8
計	3,105	1,485	4,590	38	116	703	13	4	41	81	86	3	1	1,086	45

年 度 別 新 設 消 火 栓 現 況

(令和4年4月1日現在)

布設年度 管轄別	埋設管口径 (φ)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	計	合計
伊勢崎消防署	150以上	2		13	20	19	54	130
	150未満	22	19	6	10	19	76	
赤堀消防署	150以上			2	3	1	6	43
	150未満	2	4	8	13	10	37	
東消防署	150以上			1		2	3	9
	150未満	3	1	1	1		6	
境消防署	150以上				2	3	5	55
	150未満	10	19	13	2	6	50	
計	150以上	2		16	25	25	68	237
	150未満	37	43	28	26	35	169	

伊勢崎市

【令和4年度 消防水利整備事業】

防火水槽設置工事

境早川公園

耐震性貯水槽

40 m³

1基 (鋼板+FRP)

救 急



令和4年度 救急隊員生涯教育効果確認訓練
開催地：伊勢崎市消防本部

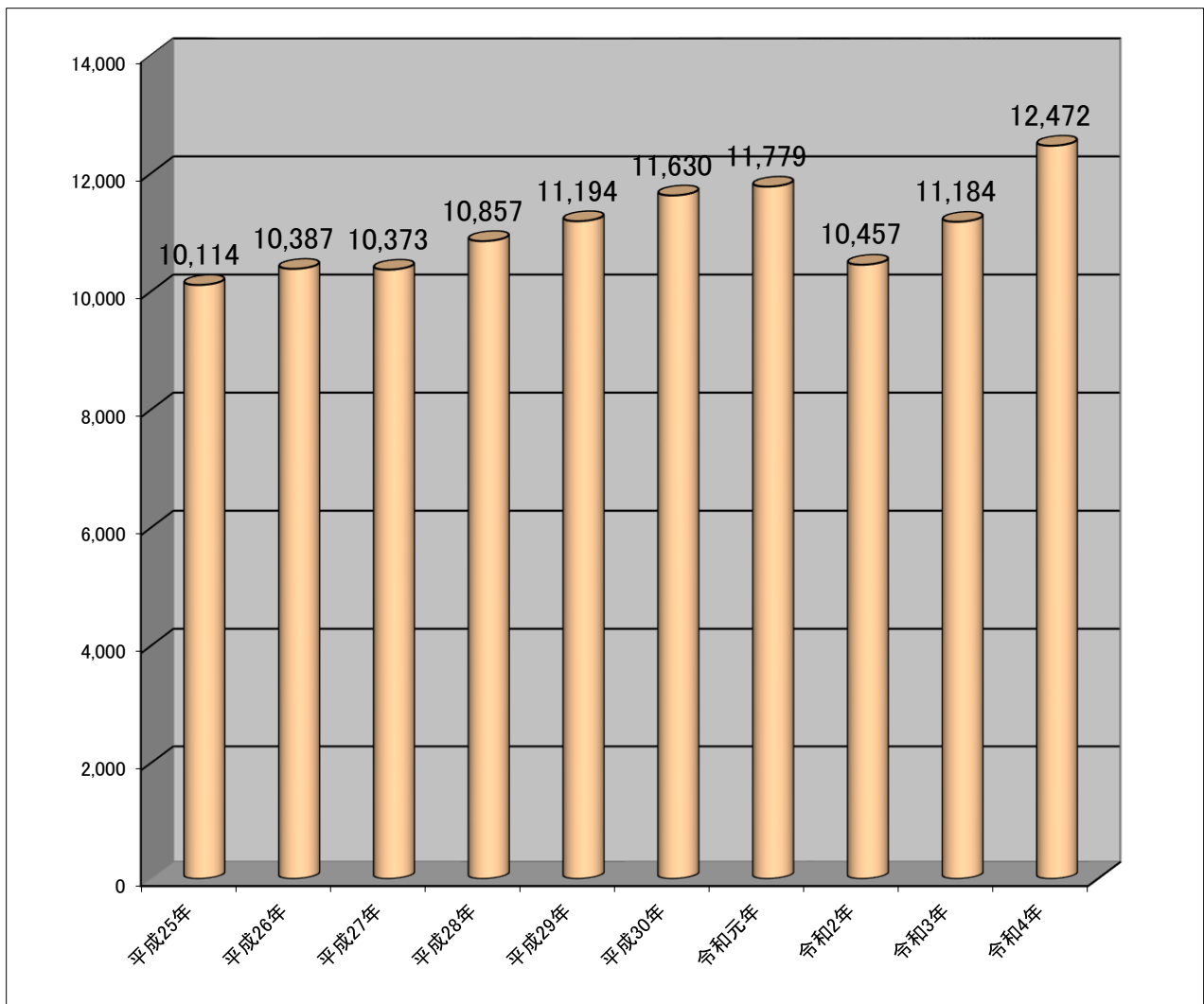
救 急 概 要

令和4年中の救急出動件数は、12,472件、搬送人員は、10,905人で前年と比較すると出動件数は1,288件増加、搬送人員は843人の増加となっています。

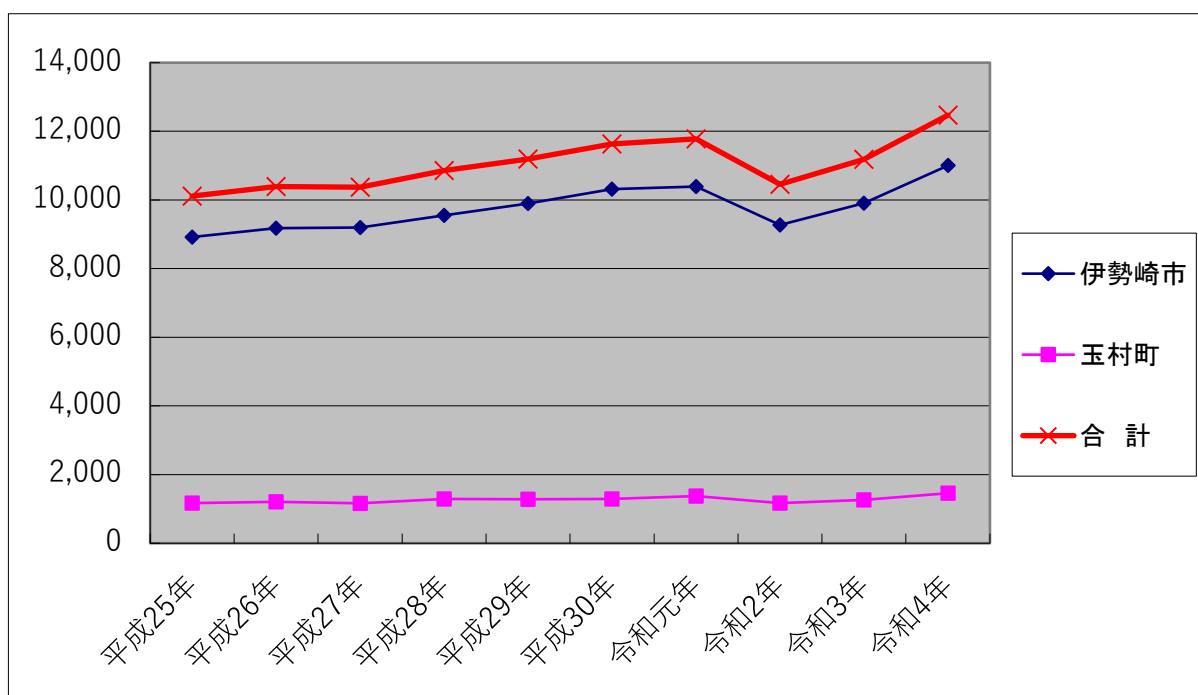
搬送状況を事故種別ごとにみると、急病が7,298人で全体の66.9%を占め、ついで一般負傷1,370人(12.6%)、転院搬送938人(8.6%)、交通事故814人(7.5%)の順となっています。

救急隊により搬送された方々の程度別の状況については、中等症が5,570人で全体の51.1%を占め、ついで軽症が3,776人(34.6%)、重症が1,432人(13.1%)の順となっています。

救 急 出 動 件 数 の 推 移



市町別救急出動件数の推移（過去10年間）



市町別 年	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)	合 計
平成25年	8,921	1,171	22	10,114
平成26年	9,175	1,204	8	10,387
平成27年	9,197	1,164	12	10,373
平成28年	9,551	1,293	13	10,857
平成29年	9,897	1,277	20	11,194
平成30年	10,315	1,292	23	11,630
令和元年	10,392	1,379	8	11,779
令和2年	9,274	1,168	15	10,457
令和3年	9,910	1,264	10	11,184
令和4年	11,003	1,458	11	12,472

救急活動概要

(令和4年中)

区 分		令和4年 A	令和3年 B	前 年 比 較	
				増 減 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数		12,472 件	11,184 件	1,288 件	11.5 %
傷 病 者 搬 送 件 数		10,813 件	9,971 件	842 件	8.4 %
傷 病 者 不 搬 送 件 数		1,659 件	1,213 件	446 件	36.8 %
医 師 搬 送 件 数		2 件	0 件	2 件	200 %
資 器 材 等 輸 送 件 数		24 件	16 件	8 件	50.0 %
傷 病 者 搬 送 人 員		10,905 人	10,062 人	843 人	8.4 %
性別	男性	5,719 人	5,119 人	600 人	11.7 %
	女性	5,186 人	4,943 人	243 人	4.9 %
一日平均出動件数		34.2 件	30.6 件	伊勢崎佐波管内人口 令和4年1月1日現在 248,642 人 令和5年1月1日現在 248,121 人 前年比 521 人減	
発 生 率		42 分に 1 件	47 分に 1 件		
救 急 車 利 用 率		20 人に 1 人	22 人に 1 人		
人口1万人当たりの 出 動 件 数		503 件	450 件		

救急隊別出動状況

(令和4年中)

救急隊		区分	出動 件数	構成比 (%)	前年出 動件数	増減	1 ヶ月 平均	1 日 平均	搬送 人員	不搬送
伊勢崎消防署	伊勢崎署救急隊		3,258	26.12	2,975	283	272	8.9	2,743	538
	北分署救急隊		1,695	13.59	1,551	144	141	4.6	1,491	218
	南分署救急隊		1,427	11.44	1,248	179	119	3.9	1,268	169
	西分署救急隊		1,387	11.12	1,177	210	116	3.8	1,214	182
赤堀消防署救急隊			1,268	10.17	1,119	149	106	3.5	1,135	146
東消防署救急隊			1,149	9.21	1,075	74	96	3.2	1,030	130
境消防署救急隊			1,167	9.36	1,032	135	97	3.2	1,042	130
玉村消防署救急隊			1,121	8.99	1,007	114	93	3.1	982	146
合 計			12,472	100	11,184	1,288	1,039	34.2	10,905	1,659

発生市町別救急出動件数

(令和4年中)

市町別 事故種別		合 計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合 計		12,472	11,003	1,458	11
火 災		37	34	3	0
自然災害事故		0	0	0	0
水 難 事 故		5	5	0	0
交 通 事 故		847	752	89	6
労働災害事故		142	124	18	0
運動競技事故		83	77	5	1
一 般 負 傷		1,531	1,357	174	0
加 害		44	39	4	1
自 損 行 為		123	106	16	1
急 病		8,456	7,401	1,055	0
そ の 他	転 院 搬 送	941	873	68	0
	医 師 搬 送	2	0	0	2
	資器材等輸送	24	24	0	0
	そ の 他	237	211	26	0

発生市町別救急搬送人員

(令和4年中)

市町別 事故種別		合 計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合 計		10,905	9,614	1,284	7
火 災		6	4	2	0
自然災害事故		0	0	0	0
水 難 事 故		1	1	0	0
交 通 事 故		814	723	86	5
労働災害事故		140	122	18	0
運動競技事故		82	76	5	1
一 般 負 傷		1,370	1,210	160	0
加 害		28	25	3	0
自 損 行 為		89	73	15	1
急 病		7,298	6,384	914	0
そ の 他 (転院搬送等を含む)		1,077	996	81	0

現場到着までの所要時間

(令和4年中)

所要時間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計(件)	平均(分)
急病	52	360	6,002	1,985	57	8,456	8.6
交通事故	6	38	548	218	37	847	9.7
一般負傷	13	74	1,112	326	6	1,531	8.4
その他	33	187	1,025	366	27	1,638	8.5
合計	104	659	8,687	2,895	127	12,472	8.7

病院収容までの所要時間

(令和4年中)

所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	合計(人)	平均(分)
急病	0	33	732	5,288	1,245	7,298	47.0
交通事故	0	3	87	575	149	814	47.5
一般負傷	0	7	139	1,045	179	1,370	44.8
その他	0	17	307	943	156	1,423	42.4
合計	0	60	1,265	7,851	1,729	10,905	46.2

月別救急出動件数

(令和4年中)

月 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
急病	664	629	620	637	656	742	792	842	684	651	679	860
交通事故	57	62	64	73	59	84	68	67	56	75	93	89
一般負傷	139	109	124	125	94	114	125	137	117	134	139	174
その他	136	122	118	111	142	144	163	152	146	132	130	142
合計	996	922	926	946	951	1,084	1,148	1,198	1,003	992	1,041	1,265

曜日別救急出動件数

(令和4年中)

曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日
急病	1,318	1,218	1,128	1,178	1,180	1,240	1,194
交通事故	145	112	121	122	145	102	100
一般負傷	215	195	217	213	210	250	231
その他	267	244	266	225	277	199	160
合計	1,945	1,769	1,732	1,738	1,812	1,791	1,685

時間別救急出動件数

(令和4年中)

事故種別 時 間	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
0時 ～ 2時	513	406	12	52	43
2時 ～ 4時	433	364	18	31	20
4時 ～ 6時	486	392	19	48	27
6時 ～ 8時	881	656	90	101	34
8時 ～ 10時	1,516	1,029	118	181	188
10時 ～ 12時	1,555	944	106	204	301
12時 ～ 14時	1,541	980	68	189	304
14時 ～ 16時	1,253	755	100	179	219
16時 ～ 18時	1,385	839	129	190	227
18時 ～ 20時	1,265	865	109	167	124
20時 ～ 22時	927	673	54	119	81
22時 ～ 24時	717	553	24	70	70
合 計	12,472	8,456	847	1,531	1,638

救急隊員の行った応急処置件数

(令和4年中)

事故種別 応急処置等項目	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
応急処置対象人員	10,878	7,287	811	1,367	1,413
止血	197	29	25	97	46
固定	637	26	354	160	97
人工呼吸	55	41	2	5	7
心臓マッサージ	0	0	0	0	0
（うち自動式）	0	0	0	0	0
心肺蘇生	242	208	3	18	13
（うち自動式）	145	127	0	12	6
酸素吸入	1,973	1,492	37	71	373
気道確保	357	303	7	22	25
1. 経鼻エアウェイ	26	22	0	3	1
2. 喉頭鏡／鉗子	8	1	0	7	0
3. ラリngeアルマスク等	8	7	0	1	0
4. 気管挿管	8	4	0	4	0
保温	931	652	42	96	141
被覆	447	25	113	223	86
在宅療法の継続	137	114	0	8	15
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	24	21	0	2	1
静脈路確保	158	136	3	11	8
薬剤投与	93	77	1	9	6
その他の処置	9,562	6,448	709	1,197	1,208
血圧測定	10,129	6,790	782	1,239	1,318
聴診器	3,269	2,550	203	246	270
血中酸素飽和度	10,597	7,081	799	1,323	1,394
心電図	7,359	5,700	245	576	838
血糖測定	118	117	0	1	0
エピペン投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	24	24	0	0	0
合 計	46,309	31,834	3,325	5,304	5,846

事故種別年齢区分別搬送人員

(令和4年中)

年齢 区分	事故種別 傷病程度	火災	自然 災害 事故	水難 事故	交通 事故	労働 災害 事故	運動 競技 事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死 亡												0
	重 症											3	3
	中等症										4	28	32
	軽 症				1							2	3
	その他												0
	計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	33	38
乳幼児	死 亡										3		3
	重 症							1			9	6	16
	中等症				6			28			140	18	192
	軽 症				23			98			210	1	332
	その他				1								1
	計	0	0	0	30	0	0	127	0	0	362	25	544
少年	死 亡												0
	重 症				5		3	2			3	3	16
	中等症				29		16	16		3	76	10	150
	軽 症				64		30	45	2	2	113	1	257
	その他												0
	計	0	0	0	98	0	49	63	2	5	192	14	423
成人	死 亡				1				1	1	8		11
	重 症	1			15	14		16	1	7	171	86	311
	中等症	3			112	48	9	73	7	31	1,020	172	1,475
	軽 症	1			366	51	21	130	13	30	878	25	1,515
	その他				2						1		3
	計	5	0	0	496	113	30	219	22	69	2,078	283	3,315
高齢者	死 亡							5		2	94	3	104
	重 症			1	13	1		120		6	738	207	1,086
	中等症	1			62	16	2	426	1	7	2,742	464	3,721
	軽 症				114	10	1	409	3		1,084	48	1,669
	その他							1			4		5
	計	1	0	1	189	27	3	961	4	15	4,662	722	6,585
合計	死 亡	0	0	0	1	0	0	5	1	3	105	3	118
	重 症	1	0	1	33	15	3	139	1	13	921	305	1,432
	中等症	4	0	0	209	64	27	543	8	41	3,982	692	5,570
	軽 症	1	0	0	568	61	52	682	18	32	2,285	77	3,776
	その他	0	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0	9
	計	6	0	1	814	140	82	1,370	28	89	7,298	1,077	10,905

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

(令和4年中)

分類項目 傷病程度	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確 の状態	合 計
死 亡	0	21	0	3	0	0	0	2	59	20	105
重 症	121	161	46	161	2	1	8	35	279	107	921
中等症	340	260	327	439	26	61	102	62	1,656	709	3,982
軽 症	94	66	160	104	53	54	76	8	1,212	458	2,285
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
合 計	555	508	533	707	81	116	186	107	3,211	1,294	7,298

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

区 分 所 属	平成6年～令和2年		令和3年中		令和4年中		累 計 (平成6年から令和4年)	
	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員
消防本部	0	0	6	80	16	138	22	218
伊勢崎消防署	832	18,444	4	65	21	217	857	18,726
北 分 署	385	7,548	2	25	1	7	388	7,580
南 分 署	355	6,713	2	17	5	54	362	6,784
西 分 署	198	3,759	1	5	6	58	205	3,822
赤 堀 消 防 署	298	5,884	1	3	3	9	302	5,896
東 消 防 署	229	4,551	1	7	7	49	237	4,607
境 消 防 署	491	8,050	2	7	1	3	494	8,060
玉 村 消 防 署	432	9,175	2	11	14	116	448	9,302
合 計	3,220	64,124	21	220	74	651	3,315	64,995

応急手当普及啓発活動の推移 (過去10年間)

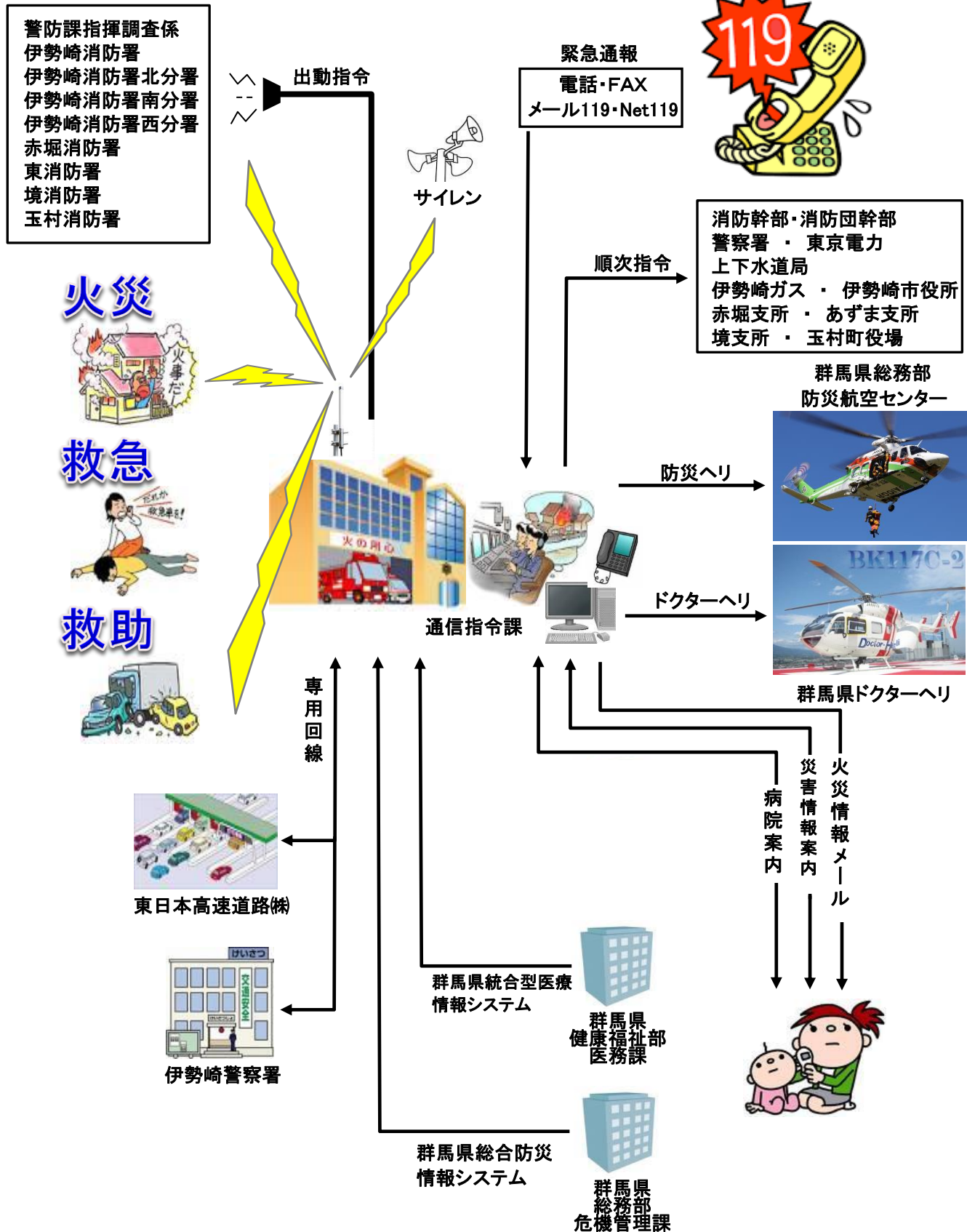
年 区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
実施回数	144	182	151	141	144	125	110	16	21	74
受講者数	2,822	3,547	2,582	2,661	2,519	2,362	1,916	333	220	651

通 信 指 令

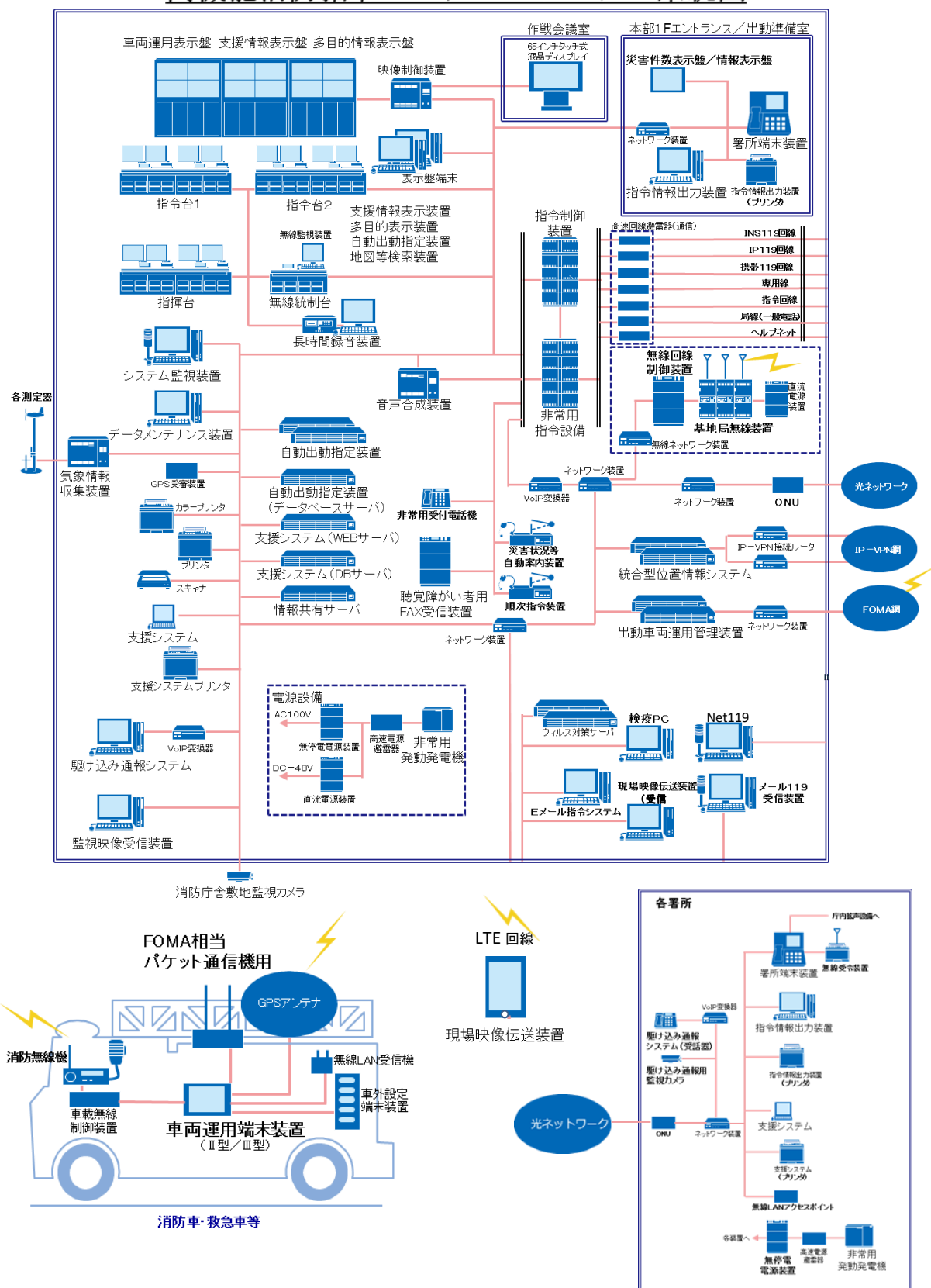


高機能消防指令センター

通信指令系統図



高機能消防指令センター システム系統図



無線通信設備一覧

デジタル波：活動波 1～3 / 主運用波 7 / 統制波 1～3

所属	車両名等	装置
消防本部	指令センター	基地
	伊勢崎本部 1	車載
	伊勢崎本部 2	車載
	伊勢崎本部 3	車載
	伊勢崎本部 4	車載
	伊勢崎本部 5	車載
	伊勢崎本部 6	車載
	伊勢崎本部支援 1	車載
	伊勢崎本部機材 1	車載
	救急伊勢崎 3	車載
	救急伊勢崎 4	車載
	伊勢崎本部調査 1	車載
	伊勢崎本部指揮 1 (2 台)	車載
	警防課 (1 台)	可搬
	通信指令課 (2 台)	可搬
	警防課 (5 台)	携帯
	通信指令課 (2 台)	携帯
伊勢崎消防署	伊勢崎指令 1	車載
	伊勢崎 1	車載
	伊勢崎水槽 1	車載
	伊勢崎化学 1	車載
	伊勢崎救助 1	車載
	伊勢崎救助 2	車載
	伊勢崎梯子 1	車載
	伊勢崎機材 1	車載
	救急伊勢崎 1	車載
	救急伊勢崎 2	車載
	伊勢崎消防署 (9 台)	携帯

所属	車両名等	装置
北分署	伊勢崎北指令 1	車載
	伊勢崎北 1	車載
	救急伊勢崎北 1	車載
	伊勢崎消防署北分署 (4 台)	携帯
南分署	伊勢崎南指令 1	車載
	伊勢崎南 1	車載
	伊勢崎南機材 1	車載
	救急伊勢崎南 1	車載
	伊勢崎消防署南分署 (4 台)	携帯
西分署	伊勢崎西指令 1	車載
	伊勢崎西 1	車載
	救急伊勢崎西 1	車載
	伊勢崎消防署西分署 (4 台)	携帯
赤堀消防署	赤堀指令 1	車載
	赤堀 1	車載
	赤堀 2	車載
	救急赤堀 1	車載
	赤堀消防署 (5 台)	携帯
東消防署	東指令 1	車載
	東 1	車載
	東 2	車載
	救急東 1	車載
	東消防署 (5 台)	携帯

所属	車両名等	装置
境消防署	境消防署	卓上
	境指令 1	車載
	境 1	車載
	境 2	車載
	境梯子 1	車載
	境機材 1	車載
	救急境 1	車載
	境消防署 (6 台)	携帯
玉村消防署	玉村消防署	卓上
	玉村指令 1	車載
	玉村 1	車載
	玉村 2	車載
	救急玉村 1	車載
	玉村消防署 (6 台)	携帯

119番通報受信状況

(令和4年中)

種別 回線種別	火災	救急	救助	その他の災害	災害等 問合せ	病院等 問合せ	いた ずら	間違い 無言等	通報 訓練	試験	携帯 転送	その他	合計
119 加 入	15	2,411	6	22	10	19	3	120	276	668	5	214	3,769
119 携 帯	122	6,075	47	101	20	219	4	541	104	144	309	633	8,319
119 I P	25	3,466	15	14	3	26	1	65	476	40	9	131	4,271
合 計	162	11,952	68	137	33	264	8	726	856	852	323	978	16,359

災害情報案内テレホンサービス利用状況

☎050-5536-6965

(令和2年～令和4年)

月別 年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令 和 2 年	438	285	198	190	523	294	199	379	231	250	390	348	3,725
令 和 3 年	370	220	605	352	366	144	142	190	166	176	124	233	3,088
令 和 4 年	163	229	171	173	189	105	204	77	139	102	79	139	1,770

火災情報メール配信サービス利用状況

(令和2年～令和4年)

月別 年別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和2年	登録件数	7,016	7,080	7,105	7,126	7,214	7,249	7,293	7,386	7,427	7,501	7,565	7,645
	配信回数	18	14	6	2	9	9	8	20	6	10	12	10
令和3年	登録件数	7,717	7,768	7,943	8,020	8,100	8,120	8,124	8,143	8,155	8,179	8,188	8,211
	配信回数	16	8	22	14	8	0	12	8	4	6	2	10
令和4年	登録件数	8,218	8,250	8,263	8,278	8,309	8,327	8,346	8,349	8,354	8,353	8,370	8,362
	配信回数	10	10	6	8	6	0	13	2	4	6	1	10

※配信回数については建物火災の情報を配信したものです。

救急病院等案内テレホンサービス利用状況

☎0270-23-1299

(令和2年～令和4年)

月別 年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令和2年	742	473	382	297	489	390	517	609	520	399	428	407	5,653
令和3年	424	394	453	531	602	464	693	686	457	444	494	546	6,188
令和4年	531	432	470	528	590	491	834	875	658	610	653	815	7,487

救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況

(令和4年中)

月別 科目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
内科	86	76	88	75	102	76	192	279	133	106	156	201	1,570
小児科	109	91	102	125	135	131	287	241	177	147	157	244	1,946
外科	40	29	26	53	32	29	55	39	36	42	29	49	459
脳神経外科	44	56	48	40	54	50	48	46	51	69	60	46	612
産婦人科	1	4	4	1	3	2	1	3	4	2	1	5	31
整形外科	145	104	128	149	159	124	146	130	147	146	141	154	1,673
泌尿器科	15	6	9	8	16	11	9	15	19	14	14	10	146
耳鼻咽喉科	14	19	18	16	27	16	17	24	27	25	24	32	259
眼科	26	16	16	20	25	15	23	27	16	27	19	33	263
精神科	0	2	1	7	1	2	0	4	2	2	1	3	25
皮膚科	21	13	14	21	16	20	47	41	24	6	21	18	262
歯科	9	6	6	7	5	3	3	7	7	9	8	5	75
その他	21	10	10	6	15	12	6	19	15	15	22	15	166
合計	531	432	470	528	590	491	834	875	658	610	653	815	7,487

気象情報発表状況

(令和4年中)

項目 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
特別警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨													
	大雪													
	高潮													
	波浪													
	小計													
警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨							1						1
	大雪													
	高潮													
	波浪													
	洪水							1						1
注意報	小計							2						2
	風雪													
	強風	3	3	1						1				8
	大雨					1	2	7	2	3				15
	大雪		3											3
	高潮													
	波浪													
	洪水					1		5	3					9
	着雪													
	乾燥	2	1	4	2								1	10
	濃霧	1	2	2	3	8	2		2	1	3	8	3	35
	霜				2						1			3
	なだれ													
	融雪													
	低温													
	着氷													
	雷	2			5	7	19	12	14	6	1			66
	小計	8	9	7	12	17	23	24	21	11	5	8	4	149

消防音楽隊

消防音楽隊は音楽を通じて「火災予防の普及」及び「消防士気の高揚」、「住民との融合」などを目的として昭和39年に設立されたものである。

全国的にもその歴史は古く、隊発足時には15名の隊員構成であったが、新旧交代を幾度か繰り返し、現在は53名で活動している。

若い隊員が多く消防職員としての仕事の傍ら、消防行事から各種公式行事、市民行事まで幅広く参加し、消防広報の一翼を担っている。

(名称の変遷)

伊勢崎市消防音楽隊

昭和39年 2月 7日発足

伊勢崎佐波消防組合消防音楽隊

昭和46年 4月 1日

伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合
消防音楽隊

昭和47年10月 1日

伊勢崎市消防音楽隊

平成17年 1月 1日



創立50周年記念コンサート (伊勢崎市境総合文化センター)

消 防 音 楽 隊 編 成 表

(令和5年4月1日現在)

パート \ 階級	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
指 揮 者	1				1
フルート・ピッコロ	1	1	1	1	4
オ ー ボ エ					0
ク ラ リ ネ ッ ト	2	2	4		8
ソプラノサククス					0
アルトサククス	1	3			4
テナーサククス	1	1			2
バリトンサククス			2		2
ト ラ ン ペ ッ ト	2	2	3	1	8
フ レ ン チ ホ ル ン	1	1	3		5
ト ロ ン ボ ー ン		2	2		4
ユーフォニウム			3		3
テ ュ ー バ	1	1	1		3
パーカッション	1	4	3	1	9
合 計	11	17	22	3	53

歴 代 の 音 楽 隊 長

代	氏 名	期 間
初代	栗原 秀夫 氏	昭和39年 2月 7日～昭和44年 3月31日
2代	木口 実 氏	昭和44年 4月 1日～昭和49年 3月31日
3代	新井 周雄 氏	昭和49年 4月 1日～昭和51年 3月31日
4代	井埜 宗市 氏	昭和52年 4月 1日～昭和53年 3月31日
5代	多田 紀一 氏	昭和53年 4月 1日～昭和54年 3月31日
6代	栗原 秀夫 氏	昭和54年 4月 1日～昭和56年 3月31日
7代	栗原 康二 氏	昭和56年 4月 1日～昭和57年 3月31日
8代	新井 周雄 氏	昭和57年 4月 1日～平成 3年 3月31日
9代	栗原 清二 氏	平成 3年 4月 1日～平成 8年 5月31日
10代	竹澤 茂 氏	平成 8年 6月 1日～平成11年 3月31日
11代	細井 喜也 氏	平成11年 4月 1日～平成21年 3月31日
12代	西野目心吾	平成21年 4月 1日～平成28年 9月30日
13代	倉金 寛政	平成28年10月 1日～令和 3年 3月31日
14代	阿久津友寛	令和 3年 4月 1日～

派遣状況の推移

年 度	派遣回数	年 度	派遣回数
平成 2 5 年度	15	平成 3 0 年度	11
平成 2 6 年度	12	令和 元 年度	8
平成 2 7 年度	11	令和 2 年度	0
平成 2 8 年度	14	令和 3 年度	0
平成 2 9 年度	14	令和 4 年度	0

令和 4 年度派遣状況

令和 4 年度の派遣については、令和 2 年度より新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からすべて中止となりました。

※《参考》令和元年度派遣状況

日 時	行 事 名	派遣 隊員数	場 所
8月10日（土）14時00分～	いせさきまつりオープニングイベント	23	伊勢崎市本町通り
8月12日（月）17時00分～	群馬オープンソフトボール開会式	26	伊勢崎市ソフトボール場
9月21日（土）8時15分～	関東選抜古希還暦軟式野球開会式	27	伊勢崎市野球場
9月27日（金）9時00分～	玉村町戦没者追悼式	30	玉村町文化センター
11月 4日（月）8時00分～	伊勢崎市シルクトーナメント開会式	26	伊勢崎市野球場
11月14日（木）13時30分～	伊勢崎市戦没者追悼式	25	境総合文化センター
1月13日（月）11時00分～	伊勢崎市消防出初式	30	境総合文化センター
2月 2日（日）10時30分～	玉村町消防出初式	22	玉村八幡宮

消 防 団



新入団員教養訓練
(令和4年4月24日 伊勢崎市消防本部)

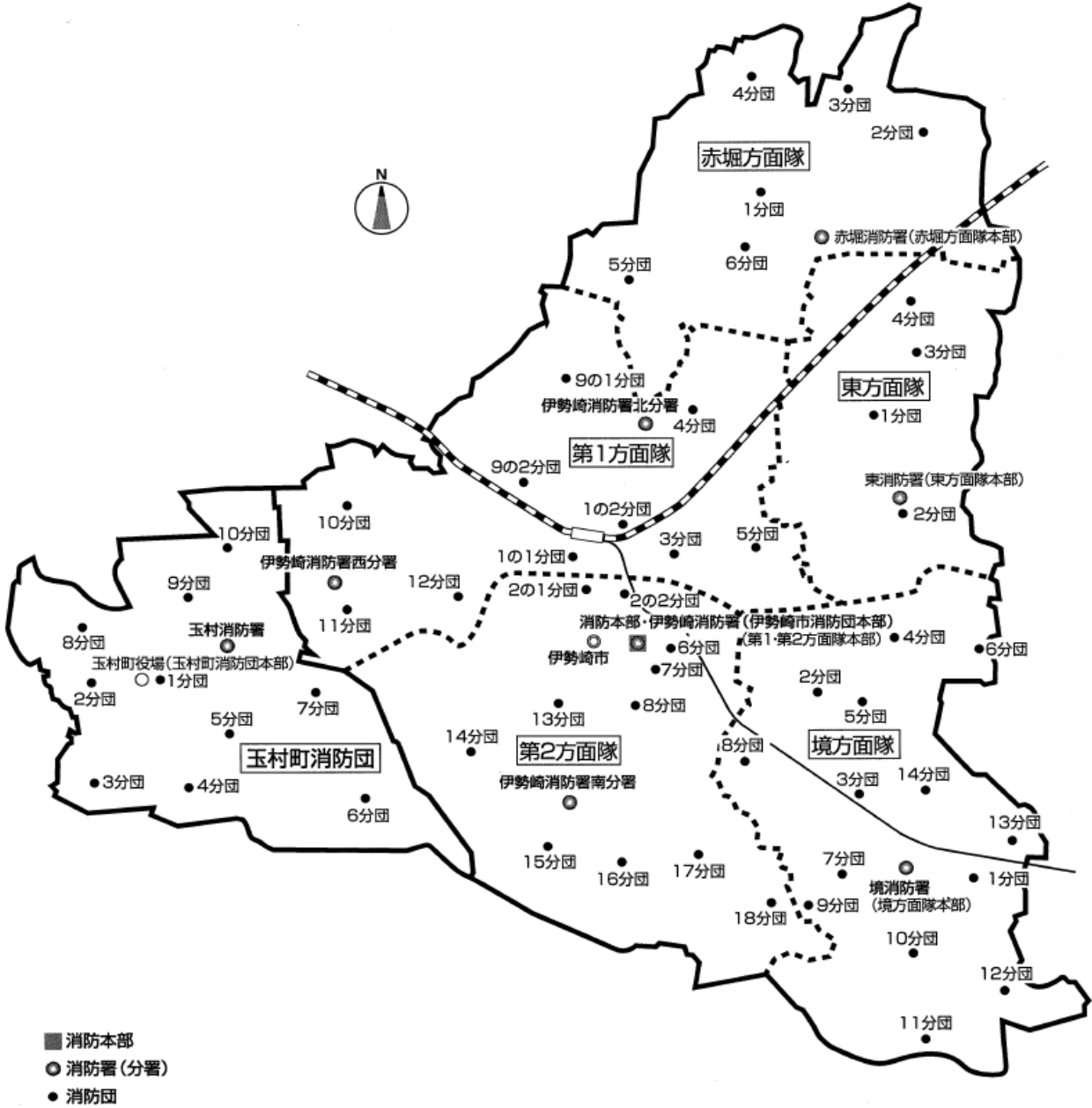
伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団
伊勢崎市消防団・玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

(令和5年4月1日現在)

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団	群馬県伊勢崎市今泉町二丁目895	[消防本部総務課消防団係]	TEL. 0270-25-3511
第1・第2方面隊	〃伊勢崎市今泉町二丁目895	[伊勢崎消防署総務係]	TEL. 0270-25-3918
赤堀方面隊	〃伊勢崎市西久保町二丁目341-3	[赤堀消防署総務係]	TEL. 0270-62-0230
東方面隊	〃伊勢崎市東小保方町3238	[東消防署総務係]	TEL. 0270-62-8980
境方面隊	〃伊勢崎市境荻原1753	[境消防署総務係]	TEL. 0270-74-0012
玉村町消防団	〃佐波郡玉村町大字下新田201	[玉村町環境安全課]	TEL. 0270-65-2511



伊勢崎市消防団の沿革

1. 市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

明治27年 8月 従来の伊勢崎火防組を、伊勢崎消防組と改編し、3部制、定数183人、腕用ポンプ3台となる。
大正15年12月 3部制を6部制に改組し、定数77人に減員する。
昭和 3年11月 6部制を5部制に改組し、定数73人に減員する。
昭和15年 9月 殖蓮村及び茂呂村合併により、伊勢崎市警防団に改組し、8個分団、定数846人となる。
昭和21年 7月 伊勢崎市警防団改編により、定数432人に減員する。
昭和22年12月 伊勢崎市警防団を、伊勢崎市消防団に改称する。
昭和26年10月 全分団に自動車ポンプを配置し、1個分団定員15人、自動車ポンプ13台、定数185人となる。
12月 伊勢崎市消防団常備消防部を10人増員し、計26人となる。
昭和30年 1月 三郷村合併により、手引きガソリンポンプ3台となり、団員50人を増員する。
3月 宮郷村、名和村及び豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、18個分団341人、自動車ポンプ16台、手引きガソリンポンプ5台となる。
昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から、伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。
(18個分団(うち2部制3個分団)319人)
昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
昭和53年 7月 第2分団1部を第2の1分団に、第2分団2部を第2の2分団に、第9分団1部を第9の1分団に、第9分団2部を第9の2分団に組織改編し、分団数が18個分団から20個分団(1個分団のみ2部制)となる。
昭和54年 4月 団本部に分団長級を3人増員し、定数320人となる。
昭和60年 4月 消防団が市に帰属し、伊勢崎市消防団となる。
平成 8年 4月 第1分団1部を第1の1分団に、第1分団2部を第1の2分団に組織改編し、分団数が20個から21個分団となる。

○赤堀町消防団

明治27年11月 赤堀消防組を設置する。
昭和14年 4月 赤堀警防団に改称し、定数434人となる。
昭和22年 4月 赤堀消防団に改称する。
昭和39年 1月 赤堀消防団の編成が、6個分団、定数104人となる。
昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。(6個分団、104人)
昭和47年 9月 群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第2分団が優勝する。
10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
昭和48年 4月 赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
昭和60年 4月 消防団が町に帰属し、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

明治28年 消防組6部を設置する。(警察の管理下)
昭和14年 1月 警防団令が公布され、警防団となる。
昭和23年 3月 消防組織法が施行され、消防団となる。(4個分団89人)
昭和45年 4月 東村消防団の編成が、4個分団、定数88人となる。
昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
昭和60年 4月 消防団が村に帰属し、東村消防団となる。

○境町消防団

明治27年11月 公設消防組を5組(境、采女、剛志、島及び世良田)設置する。
昭和14年 4月 公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
昭和22年 4月 公設警防団を廃止、消防団となる。
昭和30年 3月 町村合併により、境町、采女村、剛志村及び島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
昭和32年11月 新田郡世良田村の一部が合併し、7個分団を増設して23個分団となる。
昭和36年 4月 消防団改編(分団統合)により、23個分団から18個分団となる。
昭和37年 4月 消防団改編(分団統合)により、18個分団から14個分団、定数265人となる。
昭和42年 4月 消防団改編により、9分団9部制、定数234人となる。
昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。(9個分団(うち3部制1個分団、2部制3分団)234人)
昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
昭和55年 4月 消防団組織改編により、部制を廃止、9分団9部制から14分団、定数234人となる。
昭和60年 4月 消防団が町に帰属し、境町消防団となる。
平成 2年 4月 消防団条例の改正により、副団長3人、定数219人となる。

２．市町村合併後

平成１７年	１月	市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団（定数３２０人）が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団（定数１０４人）が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団（定数９１人）が伊勢崎市東消防団に、境町消防団（定数２１９人）が伊勢崎市境消防団に改称する。
	１月	玉村町と消防団相互応援協定を締結する。
	３月	太田市と消防相互応援協定を締結する。
平成１８年	２月	前橋市及び桐生市と、消防団相互応援協定を締結する。
	３月	みどり市と消防団相互応援協定を締結する。
	１２月	伊勢崎市伊勢崎消防団第１の２分団及び第１７分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成１９年	４月	消防団の一元化と組織の改編に伴い、４消防団を統合し、伊勢崎市消防団（１本部５方面隊、定数７３４人）を配置する。
	４月	初代消防団長に、吉岡伸也氏が就任する。
	１２月	伊勢崎第１方面隊第４分団及び伊勢崎第２方面隊第１６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２０年	２月	赤石地区整備事業に伴い、伊勢崎第１方面隊第１の１分団詰所を、曲輪町２８番２３号から曲輪町２７番７号に、新築移転する。
	４月	第２代消防団長に、小堀和行氏が就任する。
	４月	深谷市及び本庄市と、消防団相互応援協定を締結する。
	１２月	北関東自動車道波志江スマートＩＣ設置に伴い、伊勢崎第１方面隊第９の１分団詰所を、波志江町２５７４番地から波志江町２６３８番地２に、新築移転する。
平成２１年	１月	伊勢崎第１方面隊第１１分団及び伊勢崎第２方面隊第２の１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	組織の改編により、団本部員の副方面隊長の階級を、副団長から分団長に改め、副団長階級を１６人から５人、分団長階級を４５人から５６人とする。併せて、伊勢崎第１方面隊及び伊勢崎第２方面隊から伊勢崎を削除し、第１方面隊及び第２方面隊に改称する。
	４月	第３代消防団長に、矢内昌春氏が就任する。
	５月	消防庁長官表彰を受章する。
	７月	組織の改編により、部長階級を廃止し、定数７３５人となる。
	１２月	第２方面隊第２の２分団及び第１８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２２年	３月	境方面隊第１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。（経済危機対策臨時交付金事業）
	４月	第４代消防団長に、齋藤本目氏が就任する。
	４月	境消防署配備の消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を、伊勢崎市消防団の災害対応車として配置換えし、車両運用の効率化を図るため、東方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換えする。
平成２３年	１月	境方面隊第２分団及び第８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	第５代消防団長に、矢内豊氏が就任する。
	５月	群馬県知事総合表彰を受章する。
平成２４年	１月	東方面隊第３分団及び境方面隊第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２５年	２月	第２方面隊第８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を、赤堀方面隊第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。
	４月	伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、副団長及び方面隊長の兼務を解き、それぞれ専任とする。また、団本部を１７人から１８人に増員する。
平成２６年	２月	第１方面隊第１２分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を、境方面隊第１１分団に消防ポンプ自動車水Ｉ－Ａ型（１，５００リットル水槽付）を更新し、配備する。
	１１月	総務省消防庁から借受した、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害対応車として境消防署に配備する。
平成２７年	２月	第１方面隊第１の１分団及び第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２８年	２月	東方面隊第４分団及び境方面隊第１３分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２９年	２月	第２方面隊第１３分団及び境方面隊第５分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	３月	日本消防協会定例表彰を受章する。
	４月	伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、赤堀方面隊本部の副方面隊長を２人から１人とし、団本部を１８人から１７人に減員する。
平成３０年	２月	第１方面隊第５分団及び赤堀方面隊第６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	第６代消防団長に、諏訪耕平氏が就任する。
平成３１年	２月	第２方面隊第６分団及び第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
令和　　年	２月	第１方面隊第３分団及び境方面隊第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
	４月	伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を、一部改正し、機能別消防団員制度を導入する。

- 10月 救助活動用資機材（エンジンカッター、チェーンソー及び油圧切断機）を、第1方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊に配備する。
- 12月 第1方面隊第9の1分団及び東方面隊第2分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 12月 第1方面隊第11分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町327から東上之宮町439-2に、新築移転する。
- 令和 3年 2月 水災活動用資機材として、ボートを2艇（第1及び第2方面隊に1艇、境方面隊に1艇）配備する。
また、排水ポンプを2台（第1及び第2方面隊に1台、境方面隊に1台）配備する。
- 3月 総務大臣から感謝状を授与される。
- 令和 4年 1月 第1方面隊、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊に、方面隊本部車を更新し、配備する。
- 1月 赤堀方面隊第4分団詰所の老朽化に伴い、西野町495に新築する。
- 4月 第7代消防団長に、金井健一氏が就任する。
- 12月 赤堀方面隊第3分団詰所の老朽化に伴い、香林町二丁目1295-8から香林町二丁目1291-53に、新築移転する。
- 令和 5年 3月 赤堀方面隊第4分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。

伊勢崎市消防団組織表

(令和5年4月1日現在)

		所在地	区 域	団 員 配 置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
	団本部	今泉町二丁目895 (消防本部総務課内)	伊勢崎市管内一円	1	8	8				17
第1方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第1方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1の1分団	曲輪町27-7	曲輪町一区・二区・三区 大手町一区・二区・三区・四区 平和町一区・二区・三区・若葉町一区			1	1	2	11	15
	1の2分団	柳原町70-1	喜多町区・宗高町区・柳原町区 寿町区・華蔵寺町区・末広町区			1	1	2	11	15
	3分団	宮前町161	昭和町区・宮前町区 東本町区・下植木町区			1	1	2	11	15
	4分団	上植木本町2309-11	三和町曙区・三和町堤区・三和町書上区 本関町区・鹿島町植木区・鹿島町中下区 上植木本町区			1	1	2	11	15
	5分団	上諏訪町1588	豊城町区・上諏訪町区 日乃出町下諏訪町区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15
	9の1分団	波志江町2638-2	波志江町一丁目区・波志江町二丁目区 波志江町三丁目区			1	1	2	11	15
	9の2分団	安堀町264	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15
	10分団	宮子町1170-6	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15
	11分団	東上之宮町439-2	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15
	12分団	連取町3331-1	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15
第2方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第2方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	2の1分団	三光町7-50	本町一区・三光町区・若葉町二区			1	1	2	11	15
	2の2分団	中央町24-10	本町二区・中央町一区・二区・三区 緑町区			1	1	2	11	15
	6分団	今泉町一丁目1233-1	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15
	7分団	茂呂町二丁目3318-5	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15
	8分団	茂呂南町4479	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15
	13分団	山王町393-6	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15
	14分団	柴町629-3	菰塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15
	15分団	福島町29-1	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15
	16分団	富塚町2419-5	除ヶ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15
	17分団	馬見塚町1046	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町区 馬見塚中町区・馬見塚本町区 馬見塚湧町区・馬見塚清水町区 リバータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15
	18分団	下蓮町18-6	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区 下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15

名 称		所 在 地	区 域	団 員 配 置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
赤堀方面隊	方面隊本部	西久保町二丁目341-3 (赤堀消防署内)	赤堀方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1 分団	西久保町一丁目55-1	西久保町一丁目区・西久保町二丁目区 曲沢町区・赤堀今井町一丁目区 赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
	2 分団	赤堀鹿島町523-2	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
	3 分団	香林町二丁目1291-53	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
	4 分団	西野町495	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	5 分団	下触町999-1	下触町区・五目牛町区			1	1	2	11	15
	6 分団	市場町二丁目360	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
東方面隊	方面隊本部	東小保方町3238 (東消防署内)	東方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1 分団	東町2597-2	小泉町区・東町区 八寸町区・西小保方町区			1	1	3	17	22
	2 分団	東小保方町3339-1	下代区・平井町区・下谷区 下区・新町区・三室町区			1	1	3	17	22
	3 分団	田部井町一丁目1433-1	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	4 分団	国定町一丁目1250-32	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
境方面隊	方面隊本部	境萩原1753 (境消防署内)	境方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1 分団	境東279	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	2 分団	境伊与久2537-1	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	3 分団	境木島424-6	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	4 分団	境上刈名1143-1	上刈名区			1	1	2	11	15
	5 分団	境下刈名1857-8	下刈名六区・下刈名七区			1	1	2	11	15
	6 分団	境東新井452-1	東新井区			1	1	2	11	15
	7 分団	境下武士460-1	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	8 分団	境保泉880-2	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	9 分団	境小此木463-4	小此木区			1	1	2	11	15
	1 0 分団	境島村43-1	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	1 1 分団	境島村2594-1	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	1 2 分団	境平塚1221-5	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	1 3 分団	境三ツ木239-9	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木区			1	1	2	11	15
	1 4 分団	境上矢島905-1	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
合 計				1	8	53	45	97	531	735

※ 表中の（ ）は兼務者を指す。

※ 表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を指す。

※ 機能別消防団員は、本部又は方面隊本部、若しくは分団に所属し、条例定数735人の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

(令和5年4月1日現在)

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポン プ			原動機		備 考
					製作所	型式	級別	燃 料	排気量	
団本部	団本部車	ニッサン	800あ2378	R3.12.9				ガソリン	650	第1・第2方面隊と兼用
	団本部2号車	トヨタ	800せ8886	H31.1.25				ガソリン	2,690	第1・第2方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	800せ6001	H26.11.27	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	2,990	CD-I型 (救助資機材搭載)
第1方面隊	1の1分団	トヨタ	800せ6119	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	1の2分団	日野	830た1102	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	トヨタ	800せ9551	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (可搬C-1積載) (普通免許対応)
	4分団	日野	800す9801	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型
	5分団	トヨタ	800せ8190	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	9の1分団	トヨタ	800そ187	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	9の2分団	ニッサン	800さ1696	H11.11.24	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	10分団	トヨタ	800せ6120	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	11分団	トヨタ	800せ768	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	12分団	トヨタ	800せ5322	H26.2.4	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
第2方面隊	2の1分団	トヨタ	800せ767	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	2の2分団	トヨタ	800せ1723	H21.11.16	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	6分団	トヨタ	800せ8916	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	7分団	いすゞ	88ね143	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8分団	トヨタ	800せ4990	H25.2.6	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	13分団	トヨタ	800せ7510	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	14分団	トヨタ	800せ8915	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	15分団	いすゞ	88ね144	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	16分団	日野	800す9802	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	17分団	日野	830そ1017	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	18分団	トヨタ	800せ1722	H21.11.17	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
赤堀方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2377	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ4491	H25.2.6	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	いすゞ	88ね897	H11.3.8	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ2207	H12.1.31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	トヨタ	800そ1779	R5.2.16	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	CD-I型 (普通免許対応)
	5分団	いすゞ	88ぬ6897	H9.10.13	〃	〃	〃	軽油	4,570	CD-I型
	6分団	トヨタ	800せ8191	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	4,000	〃

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポ ン プ			原動機		備 考
					製作所	型式	級別	燃 料	排気量	
東 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2380	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	ミツビシ	800す2923	H15.12.5	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	8,200	水Ⅱ型 (2,000L水槽付)
	2分団	トヨタ	800そ188	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	3分団	トヨタ	800せ3619	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型
	4分団	トヨタ	800せ6841	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
境 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2379	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ2081	H22.3.16	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	トヨタ	800せ2762	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ1271	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	いすゞ	800さ7620	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5分団	トヨタ	800せ7511	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6分団	いすゞ	88ぬ6816	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	7分団	いすゞ	88ぬ6817	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8分団	トヨタ	800せ2763	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
	9分団	いすゞ	800さ1272	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	10分団	トヨタ	800せ9552	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	11分団	日野	800せ5327	H26.2.5	〃	〃	〃	〃	6,400	水Ⅰ-A型(1,500L水槽付) (可搬C-1積載)
	12分団	いすゞ	800さ7621	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	13分団	トヨタ	800せ6843	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	14分団	トヨタ	800せ3622	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

(令和5年4月1日現在)

水槽付ポンプ車			普通ポンプ車	方面隊本部車	合 計	小型動力ポンプ C-1級
水Ⅱ型	水Ⅰ型	CD-I型	CD-I型			
A-2級			A-2級			
1	1	2	42(5)	5	51	10

※ 表中の()は、42のうち車両総重量3.5t未満の普通免許で運転可能なポンプ車の台数。

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

(令和5年4月1日現在)

	消防救急デジタル携帯無線機	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル携帯受令機
正副団長		4	4
第1方面隊	2	23 (本部3、各分団2)	63 (本部3、各分団6)
第2方面隊	2	25 (本部3、各分団2)	69 (本部3、各分団6)
赤堀方面隊	2	14 (本部2、各分団2)	39 (本部3、各分団6)
東方面隊	2	10 (本部2、各分団2)	27 (本部3、各分団6)
境方面隊	2	31 (本部3、各分団2)	87 (本部3、各分団6)
合 計	10	107	289

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

(令和5年4月1日現在)

	エンジンカッター	チェーンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第1方面隊	1	1	1	1	1
第2方面隊	1	1	1		
赤堀方面隊	1	1	1		
東方面隊	1	1	1	1	
境方面隊	1	1	1	2	2
合 計	5	5	5	4	3

1. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
0	0	1	9	8	3	9	6	10	7
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
11	14	13	12	18	21	24	15	30	18
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
36	30	29	34	43	21	28	30	33	15
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
29	15	20	15	14	12	7	6	8	3
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
3	2	3	2	4	1	0	1	0	2
							平均年齢	うち女性	合 計
							40.6歳	39.1歳	675人

2. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

(令和5年4月1日現在)

階級	年数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 長								1		1
副 団 長							3	2	3	8
分 団 長			1	9	15	13	6	9	2	55
副分団長			2	9	14	8	11	1		45
班 長			8	33	21	20	12	3		97
団 員		24	100	103	118	71	34	14	5	469
合 計		24	111	154	168	112	66	30	10	675人

3. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

(令和5年4月1日現在)

農 業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合 計
56	86	190	16	54	91	43	139	675人

4. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

(令和5年4月1日現在)

被用者	自営業	家族従業者	その他	うち学生	合 計
459	106	55	55	9	675人

5. 伊勢崎市消防団出動状況

(令和4年中)

	火 災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合 計
出動回数	224	1,306	170	24	1,423	3147回
出動延人数	998	6,378	1,215	131	4,535	13257人

6. 伊勢崎市消防団充足率

(令和5年4月1日現在)

定 数	実 員	充足率
735	675	91.8%

消防関係団体



火を消して 不安を消して つなぐ未来

(令和5年度 全国統一防火標語)

意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ

(令和5年度 危険物安全週間推進標語)

消 防 関 係 団 体 の 現 況

(令和5年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
群馬県消防協会伊勢崎佐波支部 支部長 金 井 健 一 (伊勢崎市消防団長)	S47.10. 1	1,082	消防本部総務課

(令和5年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎地区危険物安全協会 会 長 岡 本 英 一	H30. 4. 1	183	消防本部予防課

(令和5年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波防火協会 会 長 城 田 孝 雄	H 9. 4. 1	516	消防本部予防課

(令和5年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波少年女性防火委員会 会 長 丹 野 武 志 (消防長)	S55.11.20	10	消防本部予防課

(委員構成：消防関係2名、消防協力団体8名、教育関係1名)

(令和5年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波救急医療連絡協議会 会 長 大 澤 誠 (伊勢崎佐波医師会長)	H10. 9.17	20	消防本部救急課

(委員構成：伊勢崎佐波医師会2名、告示7病院14名、伊勢崎市健康推進部長、消防関係3名)

女 性 防 火 ク ラ ブ の 現 況

(令和5年4月1日現在)

名称	本部・支部名	班名	会員数(実数)
伊勢崎市女性防火クラブ 会 長 原 田 初 枝 結成年月日 平成17年4月1日 事務局 消防本部総務課	本 部		(6)
	伊勢崎第1支部	北班・南班・殖蓮班 ・茂呂班	64
	伊勢崎第2支部	三郷班・宮郷班 ・名和班・豊受班	89
	赤 堀 支 部	北班・南班	49
	東 支 部	北班・南班	49
	境 支 部	北班・中央班・南班	74
	合 計		325

※表中の（ ）は兼務者を示す。

※玉村町女性防火クラブは、令和5年3月31日をもって解散となる。

少 年 消 防 ク ラ ブ の 現 況

(令和5年4月1日現在)

名称	結成年月日	会員数
西国定地区少年消防クラブ 指導者 鈴木 清 美	S55.11.20	50
平井地区少年消防クラブ 指導者 橋 場 美智子	S58. 3.21	31
境上矢島地区少年消防クラブ 指導者 藤 村 辰 雄	S56. 4. 1	21

